

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	大山観光開発株式会社	団体代表者	山元 政彦
所在地	原55	市団体所管課	観光政策課
設立年月日	昭和39年10月	市出資割合	66%
事業の概要	旧大山町の時に、「極楽坂スキー場」を運営する会社として設立され、その後平成18年に「らいちょうパレースキー場」も移管され、現在は、その2つのスキー場（総称：立山山麓スキー場）を管理運営している。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	8人
（内、市職員）※特別職含む	2人
（内、富山市OB）	2人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	13人
（内、正規職員数）	4人
（内、臨時・嘱託職員数）	8人
（内、市派遣職員数）	1人
職員総人件費	52,734千円
（内、正規職員の年間総人件費）	15,069千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	27,997千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	9,668千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	9,668千円
職員人件費に対する富山市の負担率	-
正規職員の平均人件費	-千円
非正規職員の平均人件費	3,499千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	団体独自の規定
正規職員の平均年齢	44歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	125,462	99,945	79,418	113,240	132,828	180,396	139,862千円
負債の部合計	567,334	551,508	594,140	582,160	542,566	550,283	511,786千円
（内、借入金）	500,000	500,000	570,000	550,000	520,000	510,000	480,000千円
資本の部合計	-441,872	-451,563	-514,722	-468,920	-409,738	-369,887	-371,924千円
債務超過の有無	有	有	有	有	有	有	有
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	336,011	292,002	139,283	297,307	355,286	358,335	278,385千円
経常費用	334,514	301,485	202,234	253,806	295,896	318,275	280,214千円
収支差額	1,497	-9,483	-62,951	43,501	59,390	40,060	-1,829千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	17,231	13,404	12,225	8,690千円
市支出 補助金	94,090	75,000	60,000	40,680千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-111,321	-88,404	-72,225	-49,370千円
貸付金残高	500,000	520,000	510,000	480,000千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	111,321,490	45,370,000	42,524,000	54,370,000	54,370,000	56,951,490
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	1,496,824	27,243,000	44,966,570	42,593,646	40,196,992	38,700,168
合計	109,824,666	18,127,000	-2,442,570	11,776,354	14,173,008	95,651,658

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
売上高	206,269,722	253,587,000	273,660,000	273,660,000	273,660,000
売上原価	10,749,682	15,840,000	15,840,000	15,840,000	15,840,000
売上総利益	195,520,040	237,747,000	257,820,000	257,820,000	257,820,000
販売費及び一般管理費合計	321,826,922	234,943,000	237,292,430	239,665,354	242,062,008
営業利益	-126,306,882	2,804,000	20,527,570	18,154,646	15,757,992
営業外利益	129,741,219	61,837,000	61,837,000	70,837,000	70,837,000
営業外費用	1,937,513	37,398,000	37,398,000	46,398,000	46,398,000
経常利益	1,496,824	27,243,000	44,966,570	42,593,646	40,196,992
特別利益合計	0	0	0	0	0
特別損失合計	0	0	0	0	0
税引き前当期純利益	1,496,824	27,243,000	44,966,570	42,593,646	40,196,992
法人税住民税	208,500	208,500	8,881,500	14,510,500	13,706,500
当期純利益	1,288,324	27,034,500	36,085,070	28,083,146	26,490,492
純資産・正味財産	-441,871,984	-344,891,027	-308,805,957	-280,722,811	-254,232,319

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)	
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)		
営業日数と利用者数	1	営業日数及び利用者数については、気候（降雪量等）の影響を直接受けるとともに、レジャーの多様化によりスキー人口が減少している状況から、降雪に恵まれ、比較的安定して営業できた令和3年度の利用者数を目標として集客、営業に取り組む。	上段 営業日数 下段 利用者数	日 千人	96 115	76 101	37 22	85 112	88 124	83 115	81(57) 83	93 112	93 124	93 124	93 124	高	
索道修繕等市補助金の削減	2	索道修繕計画、圧雪車導入計画の随時見直しとともに、緊急性の高いものから実施することにより市補助金削減を図る。 (索道・圧雪車関係補助金額)	富山市補助金	千円	93,000	66,000	48,610	42,000	74,320	59,320	40,000	36,000	33,154	45,000	45,000	高	
レンタル事業の自社運営	3	スキー、スノーボードのレンタル事業を自社運営するとともに、外国人も含め、お客様ニーズに合わせた新たなプランも検討し、さらなる収益増を図る。（粗利益額）	上段：売上 中段：仕入 下段：粗利	千円	レンタルは未実施			2,463	21,992	24,386	25,573	21,674	25,500	25,500	25,500	25,500	高
県外スキー場との連携	4	県外のスキー場との連携によるグループ共通リフト券等へ参画し、索道売上げの増に繋げるとともに、適宜、県内外のスキー場との情報交換・共有により、リフト料金の適正化（値上げ等）に努める。（マックアース共通リフト券、スノーパースクラブへの参画）	(売上高) 索道収入	千円	マックアースのグループについては未実施			966	1,388	1,209	1,343	1,564	2,000	2,000	2,000	2,000	中
レストラン収益の増	5	食材原価率を30%に抑えるとともに、レストランメニューの見直し、運営の効率化に継続して取り組み、また、テラス席の設置による座席数増を図り、さらなる収益増に努める。	上段：食堂売上 中段：食堂仕入 下段：粗利	千円	23,167	19,674	5,324	15,265	18,930	20,209	17,289	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	高
グリーンシーズンにおける収益の増	6	グリーンシーズンの売上を増やすため、ドローンパークの充実（実技試験練習エリアの設置等）及びマウンテンカート事業の収益事業化を進めるとともに、新たな収益事業としてドッグランやアクティビティ等の導入を検討する。	(売上高) その他収入	千円	ドローンパークはR2年度、マウンテンカートはR5年度から実施			80	114	105	373	927	1,000	1,000	1,000	1,000	中
広告宣伝	7	HP、SNS等を活用して、特に若者層への効果的な広告宣伝を行う。（基準H29広告宣伝費 2,305）	(一般管理費) 広告宣伝費	千円	WEBの活用強化についてはR4実施			1,274	2,754	1,115	1,557	961	961	961	961	961	中
電力料金等の抑制	8	電力料等のエネルギー価格が高騰しているなか、日々の省エネに努めるとともに、状況に応じて有利な契約に切り替えるなど経費削減を図る。（基準H29電力料 16,088）	(一般管理費) 電力料	千円	16,088	14,381	5,865	7,384	8,420	15,009	16,097	25,318	25,318	25,318	25,318	25,318	中
借地料の軽減	9	借地料の値下げについて、引き続き、地権者と交渉する。（基準H29契約額 23,207）	(一般管理費) 借地料	千円	H28年借地契約更新			20,967	21,003	21,068	20,982	20,887	20,887	20,887	20,887	20,887	中
宿泊施設との連携	10	現状、日帰り客が中心であるが、宿泊者向けリフト券を提供し、周辺宿泊施設と連携を高めて相乗効果により誘客を図る。	(売上高) 索道収入	千円	0	0	29	232	165	0	25	250	250	250	250	250	中
お客様ニーズの分析	11	顧客の属性、動向、ニーズ、思考を探るために来場者アンケートを適宜実施し、お客様ニーズを分析し企画立案に活かす。							R4.2 実施	未実施	未実施	実施する		実施する		中	

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
人材育成及び士気向上	12	従業員の士気向上を図るため、業務に関連する資格の取得を推奨するとともに、積極的に従業員提案の事業化に取り組む。また、次世代人材を確保するため、R9年までに若手従業員1人を新規に雇用する。	資格取得件数 従業員提案事業化 数								3	4	5	8	中	

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	株式会社八尾サービス	団体代表者	西田 政司
所在地	富山市八尾町保内一丁目30番地の1	市団体所管課	農林事務所農業振興課
設立年月日	平成1年12月	市出資割合	100%
事業の概要	①八尾ゆめの森交流施設（温浴・宿泊等の複合施設）の管理運営 ②八尾パインパーク（多目的スポーツ施設）、八尾サンパーク（多目的スポーツ施設）の管理運営 ③八尾地域の都市公園、広場、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館の管理運営 ④造園及び緑化事業の請負、設計、施工並びに管理		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	8人
（内、市職員）※特別職含む	4人
（内、富山市OB）	1人
常勤役員の年間平均給与額	1名のため非公表
常勤役員の平均年齢	1名のため非公表

職員総数	66人
（内、正規職員数）	8人
（内、臨時・嘱託職員数）	58人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	117,735千円
（内、正規職員の年間総人件費）	40,794千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	76,941千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金	3,442千円
職員人件費に対する富山市の負担率	2.9%
正規職員の平均人件費	5,099千円
非正規職員の平均人件費	1,326千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	55歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	141,987	150,936	147,027	184,952	147,203	142,465	105,334千円
負債の部合計	54,684	61,691	50,575	89,584	75,373	78,265	44,800千円
（内、借入金）	0	0	0	55,000	45,000	35,000	0千円
資本の部合計	87,303	89,245	96,452	95,368	71,830	64,200	60,534千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	384,359	386,938	383,065	297,977	219,826	250,095	283,527千円
経常費用	382,012	384,284	372,983	299,107	240,255	257,492	286,960千円
収支差額	2,347	2,654	10,082	-1,130	-20,429	-7,397	-3,433千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	71,495	72,708	58,368	55,975千円
市支出 補助金	86,557	31,664	32,547	34,172千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	480	301	459	279千円
収支差額	-157,571	-104,071	-90,456	-89,868千円
貸付金残高	0	45,000	35,000	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	158,051,731	108,721,000	104,217,000	96,769,000	96,769,000	61,282,731
2. 市の使用料分	480,290	395,000	395,000	395,000	395,000	-85,290
3. 団体経常利益の推移	2,346,713	233,000	233,000	233,000	233,000	-2,113,713
合計	155,224,728	108,093,000	103,589,000	96,141,000	96,141,000	59,083,728

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
補助金収入	87,547,000	47,937,000	49,821,468	49,821,468	49,821,468
受託金収入 (税抜き)	64,368,575	59,802,000	55,708,090	48,937,181	48,937,181
営業収入	230,033,463	191,652,000	193,716,442	204,682,351	202,529,351
経常収益計	381,949,038	299,391,000	299,246,000	303,441,000	301,288,000
売上原価	33,952,893	35,533,000	35,963,000	35,963,000	35,963,000
人件費	192,041,461	143,776,000	146,257,000	150,252,000	149,399,000
管理費	155,894,435	120,401,000	117,345,000	117,545,000	116,245,000
営業費用計	381,888,789	299,710,000	299,565,000	303,760,000	301,607,000
営業利益	60,249	-319,000	-319,000	-319,000	-319,000
営業外収益計	2,409,462	552,000	552,000	552,000	552,000
営業外費用計	122,998	0	0	0	0
経常利益	2,346,713	233,000	233,000	233,000	233,000
特別損益	-1	0	0	0	0
法人税等	232,500	233,000	233,000	233,000	233,000
当期純利益	2,114,212	0	0	0	0

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
レストラン利用者数	1	以下のアクション等に取り組むことで、各指標について右のとおり改善を図る。	施設利用者数	人	26,633	29,388	27,277	11,242	13,338	20,471	23,614	23,432	24,399	25,409	25,409	中
温泉利用者数			施設利用者数	人	85,913	87,058	84,848	47,903	57,906	64,088	73,078	68,404	73,877	79,787	79,787	
宿泊売上			売上	千円	46,673	56,025	51,898	24,123	27,589	46,972	46,192	50,156	50,651	52,163	52,163	
レストラン売上			売上	千円	87,440	93,570	94,310	34,120	39,066	70,660	90,882	95,759	98,977	102,315	102,315	
温泉売上			売上	千円	29,632	29,988	29,906	19,452	19,914	25,053	28,235	28,831	31,138	33,629	33,629	
料理原価率			原価率	%	33.6	33.2	32.4	34.6	35.4	35.0	34.9	34.0	34.0	34.0	34.0	
アンケート評価	2	じゃらん等の発表する「公共の宿（北陸）のおすすめランキング」での上位キープ	評点	順位	-	-	-	-	6位	10位	9位	6位	6位	6位	6位	中
宿泊者数の増加	3	HPのリニューアル、フロントシステムの変更を実施した。分析による細やかな部屋だして宿泊者増加を図る。HPリニューアルとフロントシステム変更は平成29年4月に実施)	施設利用者数	人	8,920	9,919	8,812	4,370	4,853	8,097	7,760	8,166	8,411	8,662	8,662	高
1泊3食プランの販売強化による宿泊者数の増加	4	富山市内3名様以上で無料送迎を行う。市外でも近隣の場合は対応し、客数増加に努める。(TVCM、DM)	施設利用者数	人	1,280	1,614	1,617	736	574	942	655	942	970	999	999	中
水曜日宿泊の強化	5	素泊りのみの宿泊受付としていた水曜日を1泊2食付や1泊朝食付も予約受けして宿泊数増を図る。	施設利用者数	人						369	246	400	400	400	400	中
宿泊者の食事提供の増加	6	土曜日は、2食付き宿泊を優先して受付する。(素泊まり、1泊朝食付きは1か月前より空室が多い場合のみ販売する。)	施設利用者数	人	6,720	7,935	7,140	3,407	3,554	6,279	5,725	6,586	6,784	6,987	6,987	中
飲食者数の増加	7	企画作成、DM、セールス活動により宴会利用者の増加を図る。	施設利用者数	人	5,446	5,571	5,702	606	653	1,970	4,324	4,334	4,551	4,779	4,779	高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
法事用DMの送付	8	法事DMの継続と早期発送の実施。引き出物の注文増加のためアイテム検討。	施設利用者数	人	52組/785人	778	886	167	154	360	517	600	600	600	600	中
お得なシニアプランの販売強化	9	予約時に60歳以上の方には、シニアプランを進める。リピーターになっていただけるよう努める。	施設利用者数	人	402	359	348	94	253	318	306	302	311	320	320	中
日帰り休憩ランチプラン	10	日帰りの温泉利用並びにレストラン利用者の増加を図る。	施設利用者数	人	754	794	781	197	274	410	408	528	528	528	528	中
アフタヌーンティーの販売	11	紅茶とデザートをセットにしたアフタヌーンティーを販売する。	施設利用者数	人						110	0	60	60	60	60	低
アーリーチェックイン、レイトアウトプランの販売	12	通常より早いチェックインと遅いチェックアウトプランを販売し、シニア客や女性客の増加を図る	施設利用者数	人					14	39	43	40	45	50	50	中
おわら館内鑑賞プランの販売	13	おわら保存会東町支部とコラボして館内でおわら踊りを鑑賞していただくプランを新たに販売する。	施設利用者数	人							182	418	431	444	444	中
宿泊客室でのデiyユースプランの販売	14	日帰りの温泉利用並びにレストラン利用者の増加を図る。	施設利用者数	人						110	0	60	60	60	60	低
生ビール祭りの開催	15	生ビール祭りを開催し、レストランの売り上げ増を図る。	施設利用者数	杯					590	1,224	1,659	2,019	2,000	2,000	2,000	中
生ビール祭りの開催	16	生ビール、お風呂、館内利用割引券をセットで販売し、各部門での利用者増に繋げる。	施設利用者数	人					70	65	128	174	190	190	190	中
風呂の日の回数券販売強化	17	毎月26日の風呂の日での、回数券購入者に対する特典のあり方を検討する。	施設利用者数	冊	548	565	541	439	314	483	493	500	500	500	500	中
風呂の日の回数券販売強化	18	毎月8、20日の八尾（820）の日での、回数券購入者に対する特典のあり方を検討する。	施設利用者数	冊	310	299	314	166	149	200	238	200	200	200	200	中
温泉スタンプカードの利用促進	19	1回券での温泉入浴者に、一回毎にスタンプを押印し20個で入浴1回サービス（レストラン利用者は、千円毎にスタンプ1個押印する。）	施設利用者数	人	375	391	368	289	395	438	495	460	480	500	500	中
入浴料の値上げ	20	入浴料の値上げを実施する。	施設利用者数	人								68,404	73,877	79,787	79,787	中
食事料金の値上げ	21	原価率をキープできるように宿泊者用夕食と朝食料金、及び日帰り宴会者用の宴会料金、レストランのメニュー料金を値上げする。	施設利用者数	人								23,432	24,399	25,409	25,409	中
公式ホームページの料金を最安値に設定	22	送客手数料の安い公式ホームページの宿泊料金を他OTAサイト（楽天トラベル・じゃらんネット等）の料金よりも安くし、公式ホームページから入る予約へ誘導する。（google bookingの活用等）	予約率	人							14.9%	20.0%	25.0%	30.0%	30.0%	中
宿泊者食事を個室で提供するプランの作成	23	個室で食事ができる宿泊プランを作成し、高価格で販売する。	施設利用者数	人								180	360	360	360	中

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
体験教室付き宿泊プランの作成	24	体験農園での収穫体験やそば打ち体験、夏休みに家族でできる体験などを宿泊とセットにしたプランを販売する。	施設利用者数	人								0	50	50	50	中
ソフトクリーム販売	25	フロントにてソフトクリームを販売し、販売品売り上げ増と入浴客数増を図る。	施設利用者数	人							2,756	3,600	3,600	3,600	3,600	低
営業活動の強化	26	八尾・婦中地域を中心に、自治振興会や地域の各種団体と繋がりのある地区センター等に営業活動を行う	営業活動回数	回								6	6	6	6	中
宿泊料金の値上	27	宿泊者の原価率や各種指標を基に、現在の価格が適正かどうかを見直し、必要があれば、条例改正を市に働きかけていく	売上	千円	46,673	56,025	51,898	24,123	27,589	46,972	46,192	50,156	50,651	52,163	52,163	中
講習会の実施	28	社員等の従業員に対し、内部での自主研修や、場合によっては外部講師を招聘し講習会を行うなど、スキル向上に努める	研修会の開催回数	回								1	1	1	1	中

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	株式会社ほそいり	団体代表者	谷井 政人
所在地	楡原1176番地	市団体所管課	農林事務所農地林務課
設立年月日	平成8年1月	市出資割合	73%
事業の概要	①岩稲ふれあいセンター（温泉・宿泊施設、通称「楽今日館」）の管理運営 ②割山森林公園（多機能キャンプ場、通称「天湖森」）の管理運営 ③林産物等展示販売施設（観光土産品等の販売施設、通称「林林」）の管理運営		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	6人
（内、市職員）※特別職含む	1人
（内、富山市OB）	2人
常勤役員の年間平均給与額	該当者1名の為記入なし 千円
常勤役員の平均年齢	該当者1名の為記入なし 歳

職員総数	72人
（内、正規職員数）	7人
（内、臨時・嘱託職員数）	62人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	101,355千円
（内、正規職員の年間総人件費）	32,294千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	69,061千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	0千円
職員人件費に対する富山市の負担率	0%
正規職員の平均人件費	4,613千円
非正規職員の平均人件費	1,115千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	役員/富山市の給与規定に準拠 職員/会社の規定
正規職員の平均年齢	50歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	154,641	168,151	178,850	176,205	155,138	155,707	161,242千円
負債の部合計	35,496	35,295	28,438	20,766	18,632	30,075	33,122千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	119,145	132,856	150,412	155,439	136,506	125,632	128,120千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	369,416	364,576	365,153	263,923	244,555	301,729	335,976千円
経常費用	356,153	344,091	339,799	257,753	266,319	312,395	332,968千円
収支差額	13,263	20,485	25,354	6,170	-21,764	-10,666	3,008千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	27,000	22,818	5,489	2,642千円
市支出 補助金	0	0	0	0千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-27,000	-22,818	-5,489	-2,642千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	27,000,000	7,802,000	6,196,000	4,237,000	7,504,000	19,496,000
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	13,262,933	4,659,000	7,770,000	2,641,000	2,678,000	-10,584,933
合計	13,737,067	3,143,000	-1,574,000	1,596,000	4,826,000	8,911,067

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
売上高合計	369,320,516	359,405,000	375,156,000	378,288,000	385,905,000
売上原価合計	123,111,595	117,329,000	116,413,000	118,463,000	120,833,000
売上総利益	246,208,921	242,076,000	258,743,000	259,825,000	265,072,000
販売費及び一般管理費合計	233,040,492	237,417,000	250,973,000	257,184,000	262,394,000
営業利益	13,168,429	4,659,000	7,770,000	2,641,000	2,678,000
営業外利益合計	95,627	0	0	0	0
営業外費用合計	1,123	0	0	0	0
経常利益	13,262,933	4,659,000	7,770,000	2,641,000	2,678,000
特別利益合計	0	0	0	0	0
特別損失合計	501,827	0	0	0	0
税引き前当期純利益	12,761,106	4,659,000	7,770,000	2,641,000	2,678,000
法人税、住民税及び事業税	2,873,200	0	0	0	0
当期純利益	9,887,906	4,659,000	7,770,000	2,641,000	2,678,000
純資産・正味財産	119,145,110	144,918,546	152,688,546	155,329,546	158,007,546

IV アクションプラン

【楽今日館】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題					目標数値					重要度 (高・中・低)		
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)		(計画)	
ホームページ、SNSの活用	1	SNSを活用し最新の情報発信を行い、HPの魅力を上向きアクセス数を増やす。	アクセス数	回					47,344	89,524	70,000	73,000	80,300	87,600	94,900	高	
企画展・イベント等による来館者の増	2	平日の宴会場を利用し、年長者向けの体操教室やカラオケ教室等の企画展やイベント等を開催し来館者増を目指す。	利用者数	人							2	2	2	2	2	高	
企画展の誘致による来館者の増	3	小中学校やその他団体に館内のスペースを提供し、企画展等を開催し来館者を増やす。	企画回数	回					1	2	4	5	5	5	5	中	
宴会利用者の増（大宴会の誘致）	4	コロナ禍が収束し、大人数での宴会が増えてきており、各種団体の研修会付き宴会等大宴会を誘致し、宴会利用者の増を目指す。	宴会数	回	316	271	305	34	41	78	248	260	275	285	290	高	
最低限のアメニティの提供	5	客室に設置している歯ブラシや髭剃りなどのアメニティについて必要最低限の提供とする。	消耗品費低減	円					245,220	439,524	368,629	0	223,000	223,000	223,000	中	
予約手数料の低減	6	ネット予約での手数料が増加傾向にあるため、特典等の設定により手数料の低い自社HPからの予約に誘導し、その予約件数の割合を増やすことにより手数料の低減を図る。	HP予約件数割合増	%					26.1	20.1	19.7	0	30.0	30.0	30.0	中	
料理部門の原価率の低減及び新メニューの開発	7	仕入れ先の検討による原価率の低減及び新メニューの開発による利用者の増加を図る。	原価率	%	38.1	35.0	34.4	37.5	38.4	37.5	34.8	36.0	35.0	35.0	35.0	高	
職員全体ミーティングの開催	8	職員全員に現状報告を行い、売上目標の達成への意識付けを行う。また、アンケート結果に基づきお客様満足度の向上に努め利用者の増を図る。	会議数	回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	高
売店販売促進	9	県外宿泊者のお土産用に地酒の展示販売を行い、また季節に応じた商品を展示することにより、売店売上げの向上を目指す。	売上げ	円					8,759,235	12,243,166	13,920,574	14,650,000	14,800,000	15,000,000	15,200,000	高	
入浴者数（宿泊者含）	10	アクションプラン1、2、3、7、8、9実施による増加	利用者数	人	117,678	121,482	116,146	79,172	76,984	91,107	105,588	105,000	107,700	108,800	109,900	高	
宿泊者数	11		利用者数	人	6,216	6,137	5,492	3,331	3,048	4,890	4,783	5,200	5,200	5,200	5,200	高	
レストラン利用者	12		利用者数	人	42,507	41,041	40,922	23,639	26,765	33,792	39,569	42,000	42,500	43,000	43,500	高	

【天湖森】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値						目標数値				重要度 (高・中・低)	
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		R9年度
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)		(計画)
目標利用者数	1	下記対策等を実施し、利用者数の増加を図る。	利用者数	人	23,310	21,997	22,682	16,910	15,391	18,289	17,053	19,000	20,000	20,000	20,000	高
収益（売上）向上について	2	繁忙期のゴールデンウィークや夏休みにハイシーズン料金を設定し、売上向上につなげる。※差額（2,000円X13棟+600円X20区画+500円X15区画）X29日X稼働率80% = 1,055,600円	売上高	円	0	0	0	0	347,620	292,110	251,790	1,055,000	1,055,000	1,055,000	1,055,000	高
収益（売上）向上について	3	平日の料金を値下げし、稼働率の向上を図る。 ログハウス6棟X28,000円 = 168,000円 コテージ15棟X13,000円 = 195,000円 グランピング6棟X36,000円 = 216,000円	売上高	円	0	0	0	100,000	256,000	439,000	417,000	579,000	579,000	579,000	579,000	高
収益（売上）向上について	4	ソロキャンプサイトが新設されたので、その魅力を発信し、利用者の増による収益の向上を図る。 2,300円×50サイト = 115,000円	売上高	円	0	0	0	0	0	0	0	115,000	115,000	115,000	115,000	中
イベント回数	5	季節に応じたイベント、利用者のニーズをとらえたイベントの回数を増やし、天湖森の魅力を発信する。（昆虫の森、釣り大会、スノーフェスタ等）	回数	回	0	0	0	0	1	2	2	3	3	3	3	高
収益（売上）向上について	6	各種イベントを開催し、利用者増に伴う収益の向上を図る。（昆虫の森、釣り大会、スノーフェスタ等）	売上高	円	0	0	0	0	83,390	154,430	163,250	213,000	213,000	213,000	213,000	高

【林林】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)							
目標利用者数	1	下記対策等を実施し、利用者数の増加を図る。 (レジ打ち数)	利用者数	人	76,606	81,885	82,240	46,506	50,964	66,453	69,490	79,000	70,000	71,000	72,000	高
顧客満足度のUP	2	年末年始の1月2日、3日を営業し売上を伸ばす。	売上高	円	0	0	690,000	210,000	367,000	453,000	781,000	500,000	800,000	800,000	800,000	高
新規開拓	3	楽今日館と連携し、宴会、宿泊宴会のお客様を送迎バスにて誘致する。	誘致回数	回	0	10	10	3	34	64	27	35	35	35	35	高
売上高の増加	4	早朝、林林を集合場所として集まるライダーをターゲットに珈琲等を提供し売上げとサービスの向上を目指す。 300円×40人/月×8か月=96,000円	売上高	円	0	0	0	0	0	0	0	0	96,000	96,000	96,000	中
売上高の増加	5	富山県内の道の駅と協力して特産品の相互販売を行う。	売上高	円	0	0	0	0	0	0	0	50,000	80,000	100,000	120,000	中
売上高の増加	6	季節ごとに限定ソフトクリームを販売し売上げ向上を目指す。	売上高	円	3,688,000	4,263,000	3,834,000	2,621,000	3,339,000	5,001,000	6,175,000	6,000,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	高
来客者数の増加	7	季節ごとにイベントを企画し、開催回数を増やすことにより来客者数の増につなげる。 夏祭り(7月)、秋のわくわく祭り(10月)、焚火イベント(12月~2月:計3回)等	回数	回	0	0	0	0	2	4	5	0	7	7	7	高
売上高の増加	8	季節ごとにイベントを開催し、来客者増の増に伴う売上高の増を目指す。 7回×100人×1,000円=700,000円	売上高	円	0	0	0	0	138,620	360,000	497,000	500,000	700,000	700,000	700,000	高

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	公益社団法人富山市シルバー人材センター	団体代表者	中島 善一
所在地	五福3994番地（本所）	市団体所管課	長寿福祉課
設立年月日	昭和55年5月	市出資割合	100%
事業の概要	高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、その能力を生かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、これらの者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	16 人
（内、市職員）※特別職含む	1 人
（内、富山市OB）	2 人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	22 人
（内、正規職員数）	10 人
（内、臨時・嘱託職員数）	12 人
（内、市派遣職員数）	0 人
職員総人件費	112,928 千円
（内、正規職員の年間総人件費）	77,817 千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	35,111 千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0 千円
総人件費に対する富山市からの補助金	50,263 千円
職員人件費に対する富山市の負担率	44.5%
正規職員の平均人件費	7,782 千円
非正規職員の平均人件費	2,926 千円
市派遣職員の平均人件費	- 千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	50.5 歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	215,185	189,520	172,390	310,920	315,689	323,284	331,806 千円
負債の部合計	124,909	103,520	86,177	94,602	101,414	105,480	116,183 千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0 千円
資本の部合計	90,276	86,000	86,213	216,318	214,275	217,804	215,623 千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	1,067,910	989,535	913,136	840,949	824,341	799,891	787,699 千円
経常費用	1,076,477	994,292	913,705	833,824	820,748	790,725	784,243 千円
収支差額	-8,567	-4,757	-569	7,125	3,593	9,166	3,456 千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	0	0	0	0 千円
市支出 補助金	64,745	64,657	64,657	60,816 千円
借上料	0	0	0	0 千円
市収入 使用料	0	0	0	0 千円
収支差額	-64,745	-64,657	-64,657	-60,816 千円
貸付金残高	0	0	0	0 千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	64,745,000	62,992,000	62,992,000	62,992,000	62,992,000	1,753,000
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	-8,567,087	-4,513,000	-12,125,000	-5,728,000	-18,612,000	-10,044,913
合計	73,312,087	67,505,000	75,117,000	68,720,000	81,604,000	-8,291,913

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
受託事業収益	980,227,625	659,722,000	678,348,000	669,810,000	649,830,000
労働者派遣事業等受託収益	7,470,442	22,724,000	23,860,000	24,576,000	25,314,000
職業紹介事業受託収益	0	1,000	1,000	1,000	1,000
受取会費	3,902,000	3,733,000	3,733,000	3,749,000	3,769,000
受取補助金等	74,973,000	112,958,000	108,913,000	108,913,000	108,913,000
受取寄付金	1,170,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
基本財産運用益	10,500	1,000	1,000	1,000	1,000
特定資産運用益	6,157	3,000	3,000	3,000	3,000
雑収益	149,851	201,000	201,000	201,000	201,000
経常収益計	1,067,909,575	800,343,000	816,060,000	808,254,000	789,032,000
事業費	1,051,979,651	772,743,000	799,555,000	785,953,000	779,290,000
管理費	24,497,011	32,113,000	28,630,000	28,029,000	28,354,000
経常費用計	1,076,476,662	804,856,000	828,185,000	813,982,000	807,644,000
当期経常増減額	-8,567,087	-4,513,000	-12,125,000	-5,728,000	-18,612,000
経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外費用計	1	0	0	0	0
当期経常外増減額	-1	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-8,567,088	-4,513,000	-12,125,000	-5,728,000	-18,612,000
純資産・正味財産	90,275,966	198,770,000	191,158,000	185,430,000	166,818,000

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
会員数の拡大	1	新入会員の拡大及び退会者の抑制に努め、第6次中期計画に基づき、会員数の増加を図る。	会員総数	人	1,871	1,813	1,792	1,745	1,737	1,707	1,762	1,765	1,775	1,785	1,800	高
会員数の増強 (女性会員の獲得)	2	「女性のつどい」(女性限定のお仕事説明会) & ワークショップを年3回以上開催する。	開催回数	回	0	3	2	2	2	2	6	6	5	5	4	高
	3	上記の参加者のうち、新規入会者10%以上の獲得を目指す。	女性の入会者数	人	0	10	19	4	5	3	10	6	5	5	4	高
	4	上記の新規入会者のうち、入会后2か月以内の就業率を50%以上にする。	新規入会者の就業率	人	0	4	14	3	4	3	5	3	3	3	2	高
会員数の増強 (団塊の世代の会員獲得)	5	出張お仕事説明会(地域別説明会)を年10回以上開催する	開催回数	回	0	3	10	1	9	11	11	12	10	10	10	高
	6	上記の参加者のうち、新規入会者20%以上の獲得を目指す。	入会者数	人	0	4	26	1	22	34	20	12	10	10	10	高
	7	上記の新規入会者のうち、入会后2か月以内の就業率を50%以上にする。	就業率	人	0	3	18	0	15	26	9	6	5	5	5	高
	8	専任のコーディネーターがハローワーク等での退職者向けの就業相談会を開催し、シルバー人材センターの仕組み等を説明することで、シルバー事業のPRに努める。	開催回数	回	—	—	6	17	21	23	25	22	20	20	20	高
会員数の増強 (退会者の減)	9	3ヵ月に1回以上の就業情報の提供(年4回)を行い、就業率の向上を図る。	実施回数	回	0	4	4	4	6	6	4	4	4	4	4	高
	10	未就業者への就業相談会を開催し、年間10人以上の就業機会の確保を目指す。(電話相談含む。)	就業者数	人	0	0	25	47	79	81	31	20	20	20	20	高
	11	既存会員向けのワークショップ、講習会や研修会などを開催し、退会者の抑制に努める。	開催回数	回	0	0	0	0	10	5	9	7	6	6	6	高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
受注の拡大 (新規顧客の獲得等)	12	介護等の人手不足分野や子育て支援事業（保育補助や学童保育）等の現役世代を支える分野での受注拡大に努める。	受託事業収益 労働者派遣事業受託収益	件	34	24	22	42	46	40	25	20	20	20	20	中
	13	市内における空き家が増加している中、会員の職域拡大及び就業機会の創出を図るため、空き家管理対策事業の拡大に努める。	受託事業収益	件	0	0	0	1	0	2	17	25	20	20	20	低
会員等の活用	14	各連絡所の当番（受付業務等）を会員に委託し、職員の負担軽減と業務の効率化を図る。	人件費の抑制 (会員への受付業務等の委託回数)	回	—	—	—	—	—	—	—	70	80	80	80	高
	15	作業日報の入力や完了報告書の作成、就業予定表の作成など、軽微な業務については会員に委託（雇用）し、職員の負担軽減と業務の効率化を図る。	人件費の抑制 (会員への業務委託項目数)	項目	—	—	—	—	—	—	1	3	2	2	2	高
事務費の改定	16	事務手数料の引き上げを検討（現行9%⇒11%） ※契約方法の見直しの状況を見ながら進める。	受取事務費	%	9	9	9	9	9	9	9	9	9	11	11	中
職員数の適正化 (総人件費の抑制)	17	正規職員の減（退職者一部不補充）	人件費	人	11	10	9	9	9	9	10	7	8	7	7	中
	18	非正規職員の減	人件費	人	14	11	13	14	12	11	11	13	11	11	11	中
業務の効率化等	19	経理業務や給与計算等、アウトソーシングの導入を検討する。	人件費 委託費	件	—	—	—	—	—	—	—	0	0	1	1	低
	20	業務システムのカスタマイズやAIの導入を検討し、業務効率化を図る。	人件費 委託費	件	—	—	—	—	—	—	—	0	0	1	1	中
職員の能力向上	21	限られた職員数で成果を上げるため、職員のスキルアップ研修会等を実施し、個々の能力向上を図る。	開催回数	回	—	—	—	—	3	3	2	2	2	2	2	高

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	一般財団法人岩瀬カナル会館	団体代表者	西田 政司
所在地	岩瀬天神町48（岩瀬カナル会館敷地内）	市団体所管課	コンベンション・薬業物産課
設立年月日	平成7年3月	市出資割合	83%
事業の概要	岩瀬カナル会館（団体所有施設）を富山市の海洋観光の基地として情報提供・特産品の紹介等を行い、地域経済の発展に寄与することを目的とする。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	9人
（内、市職員）※特別職含む	3人
（内、富山市OB）	1人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	9人
（内、正規職員数）	1人
（内、臨時・嘱託職員数）	8人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	正規職員が1名なので非公開 千円
（内、正規職員の年間総人件費）	正規職員が1名なので非公開 千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	15,749,123 千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0 千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	18,876,000 千円
職員人件費に対する富山市の負担率	77%
正規職員の平均人件費	正規職員が1名なので非公開 千円
非正規職員の平均人件費	1,968,640 千円
市派遣職員の平均人件費	- 千円
給与規定	財団規程あり（富山市の給与規定に準拠）
正規職員の平均年齢	正規職員が1名なので非公開 歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	291,391	279,316	264,888	261,830	247,574	241,139	304,479 千円
負債の部合計	11,616	11,761	9,461	14,369	9,872	15,994	16,593 千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0 千円
資本の部合計	279,775	267,555	255,427	247,461	237,702	225,145	287,886 千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	72,337	55,282	48,416	47,281	50,601	70,234	55,604 千円
経常費用	68,766	67,502	60,544	55,248	60,359	82,792	77,862 千円
収支差額	3,571	-12,220	-12,128	-7,967	-9,758	-12,558	-22,258 千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	4,800	4,800	4,800	4,800 千円
市支出 補助金	18,529	19,590	23,733	20,363 千円
借上料	25	22	24	36 千円
市収入 使用料	0	0	0	0 千円
収支差額	-23,354	-24,412	-28,557	-25,199 千円
貸付金残高	0	0	0	0 千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	23,354,354	25,488,520	25,173,520	24,847,520	24,524,520	-1,170,166
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	3,571,484	-9,053,000	-17,600,000	-14,927,000	-13,013,000	-16,584,484
合計	19,782,870	34,541,520	42,773,520	39,774,520	37,537,520	-17,754,650

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用収入	6,098	1,000	1,000	1,000	1,000
事業収入	24,299,527	28,102,000	28,261,000	28,423,000	28,586,000
補助金収入	47,489,104	32,971,000	32,642,000	32,316,000	31,993,000
諸収入	542,741	832,000	842,000	851,000	860,000
収入合計	72,337,470	61,906,000	61,746,000	61,591,000	61,440,000
事業費	51,698,184	50,467,000	58,880,000	56,159,000	54,073,000
管理費	17,067,802	20,492,000	20,466,000	20,359,000	20,380,000
支出合計	68,765,986	70,959,000	79,346,000	76,518,000	74,453,000
当期経常増減額	3,571,484	-9,053,000	-17,600,000	-14,927,000	-13,013,000
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,571,484	-9,053,000	-17,600,000	-14,927,000	-13,013,000
純資産・正味財産	279,775,127	193,833,696	176,233,696	161,306,696	148,293,696

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
【施設貸出事業】 使用料金の見直し	1	・定期的に施設使用料金の改定を検討する。(令和4年4月1日に改定。)	使用料収入	円	3,541,120	3,696,510	3,647,530	2,995,240	3,133,508	3,578,880	3,056,470	4,210,000	4,252,000	4,295,000	4,338,000	高
				件	552	556	549	439	464	462	390	540	545	550	556	
【施設貸出事業】 附属設備使用料金の見直し	2	・定期的に附属設備使用料金の改正を検討する。(令和4年4月1日より施行。)	使用料収入	円	0	0	0	0	0	302,500	335,700	370,000	373,000	377,000	381,000	高
【施設貸出事業】 和室(研修室)の検討	3	・和室の在り方について検討する。(現在、ホールに比べ、和室の利用頻度が少ないため、今後、どのように活用していけば良いか、また、改修が必要かなど検討する。)	利用件数(和室)	件	146	112	122	57	59	104	96	130	131	132	133	中
【特産品販売事業】 取扱商品の見直し及び新商品の開発	4	・買取商品や委託商品の売れ筋状況を把握するとともに、売れない商品の撤去や定期的な商品の入替えなどを行う。(商品の配置換え含む。) ・白えびコロッケ(冷凍)販売や富岩水上ラインなど新商品の開発・販売について検討する。	回数	回	2	2	2	2	2	3	2	3	3	3	3	中
			手数料収入	円	1,951,082	2,024,853	1,894,460	1,269,971	1,231,360	1,766,989	1,794,510	2,712,000	2,739,000	2,766,000	2,793,000	
			売上収入	円	6,947,165	7,150,057	6,084,761	3,727,768	3,710,648	6,322,075	7,010,718	8,762,000	8,849,000	8,937,000	9,026,000	
			売上件数	件	-	13,881	12,913	8,442	8,519	11,556	12,150	15,800	15,950	16,110	16,270	
【地域振興事業】 情報発信力の強化	5	・HPやInstagramによる情報発信を行う。また、定期的な情報更新を行う。 ・外国語表記の案内板を設置する。	ホームページ	回					随時	中						
			Instagram	回							35	36	36	48	48	

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	一般財団法人富山勤労総合福祉センター	団体代表者	佐藤 一絵
所在地	吉作4103-1（呉羽ハイツ敷地内）	市団体所管課	商工労政課
設立年月日	昭和46年10月	市出資割合	50%
事業の概要	勤労者の福祉に関する事業を総合的にいき、もって勤労者の福祉の向上に寄与することを目的とする団体である。呉羽ハイツ管理運営事業では、日帰り温泉や宿泊、レストラン運営等を行っている。とやま自遊館管理運営事業では、宿泊、レストラン、宴会運営等を行っている。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	17人
（内、市職員）※特別職含む	0人
（内、富山市OB）	1人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	107人
（内、正規職員数）	57人
（内、臨時・嘱託職員数）	50人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	415,032千円
（内、正規職員の年間総人件費）	271,968千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	143,064千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	14,466千円
職員人件費に対する富山市の負担率	3%
正規職員の平均人件費	4,672千円
非正規職員の平均人件費	2,226千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	団体独自の規定
正規職員の平均年齢	44歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	2,102,327	2,119,440	2,130,985	1,935,533	1,830,556	1,753,338	1,768,272千円
負債の部合計	1,011,305	1,068,293	1,154,748	1,205,580	1,277,170	1,352,797	1,467,210千円
（内、借入金）	582,056	720,984	846,974	851,760	938,690	1,027,475	1,148,973千円
資本の部合計	1,091,022	1,051,147	976,237	729,953	553,386	400,541	301,062千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	1,571,049	1,480,862	1,233,803	547,188	620,703	785,506	921,885千円
経常費用	1,556,839	1,520,825	1,308,645	799,464	800,949	938,351	1,019,907千円
収支差額	14,210	-39,963	-74,842	-252,276	-180,246	-152,845	-98,022千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	0	0	0	0千円
市支出 補助金	3,427	3,427	3,427	3,427千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-3,427	-3,427	-3,427	-3,427千円
貸付金残高	189,500	321,900	386,350	457,000千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	3,427,230	3,900,000	4,412,740	4,905,500	4,905,500	-1,478,270
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	14,209,099	-42,992,000	-8,378,000	4,476,000	44,468,000	30,258,901
合計	-10,781,869	46,892,000	12,790,740	429,500	-39,562,500	28,780,631

III 損益計画

【呉羽ハイツ分】

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
営業収益	732,055,239	480,048,000	560,718,000	600,271,000	632,026,000
受託事業収入	403,350	0	0	0	0
受取補助金等	10,802,340	14,807,000	21,471,000	11,910,000	11,776,000
基本財産運用益	206,826	16,000	16,000	16,000	16,000
雑収益	3,881,912	471,000	458,000	458,000	383,000
経常収益計	747,349,667	495,342,000	582,663,000	612,655,000	644,201,000
営業費用	734,646,291	517,134,000	573,416,000	602,188,000	603,542,000
若者就業支援センター等受託事業費	0	0	0	0	0
営業外費用	603,857	4,895,000	4,684,000	4,468,000	4,254,000
経常費用計	735,250,148	522,029,000	578,100,000	606,656,000	607,796,000
当期経常増減額	12,099,519	-26,687,000	4,563,000	5,999,000	36,405,000
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	31,385	0	0	0	0
当期経常外増減額	-31,385	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	12,068,134	-26,687,000	4,563,000	5,999,000	36,405,000
純資産・正味財産	410,220,036	46,416,000	50,979,000	56,978,000	93,383,000

【自遊館分】

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
営業収益	628,861,995	463,089,000	463,165,000	470,373,000	478,752,000
受託事業収入	113,629,378	0	0	0	0
受取補助金等	81,005,945	47,727,000	52,967,000	59,960,000	62,044,000
基本財産運用益	0	0	0	0	0
雑収益	201,515	0	0	0	0
経常収益計	823,698,833	510,816,000	516,132,000	530,333,000	540,796,000
営業費用	697,810,071	513,468,000	515,347,000	517,145,000	518,022,000
若者就業支援センター等受託事業費	113,629,378	0	0	0	0
営業外費用	10,149,804	13,653,000	13,726,000	14,711,000	14,711,000
経常費用計	821,589,253	527,121,000	529,073,000	531,856,000	532,733,000
当期経常増減額	2,109,580	-16,305,000	-12,941,000	-1,523,000	8,063,000
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,109,580	-16,305,000	-12,941,000	-1,523,000	8,063,000
純資産・正味財産	680,802,268	279,331,816	266,390,816	264,867,816	272,930,816

【異羽ハイツ分】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
顧客満足度の向上	5	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのアンケートの実施と、要望への対応 ・各種キャンペーンの実施 ・旅館専用システムPMS導入し、スムーズな予約、迅速なチェックイン・アウトなど顧客に合わせたサービスを提供し利便性を向上させる。 ※PMS (Property Management System) とは、【予約、客室、料金、売上】管理などの日常業務を自動一元化するシステム						継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	高	
渉外活動による売上増	6	法要ご利用客の売り上げ増を図る。 ・ 渉外課員による丁寧な打ち合わせと高単価商品の提案を推進する。 ・ 高齢化による渉外課員の人数減に対応する為、日々の活動エリアを定めることなく短時間で次の客先に行けるよう、効率の良い渉外活動と電話やメールによる打ち合わせを推進する。	人	11,804名	9,184名	8,489名	2,185名	3,200名	5,505人	5,498人	5,400人	7,300人	7,300人	7,300人	中	
			千円	133,435千円	106,736千円	95,793千円	26,851千円	33,493千円	57,693千円	63,519千円	63,000千円	83,950千円	85,000千円	86,000千円		
		新規顧客の開拓を図る。 ・ コンベンションホールを一層PRし、県内の組織団体の誘客を推進する。 ・ 県外の旅行会社に富山県内の観光地を盛り込んだモデルコース等を提案し、県外の団体誘客を推進する。	人	実施無し 0名	実施無し 0名	実施無し 0名	実施無し 0名	実施無し 0名	実施無し 0名	実施無し 0名	20人 240千円	100人 1,300千円	200人 2,600千円	500人 6,500千円	1,000人 13,000千円	高
											実施	継続実施	継続実施	継続実施	高	
		顧客管理の一括化を図る。 ・ 渉外担当者ごとに分散していた顧客情報を一か所で管理するとともに情報の共有化による効果的な活用を行う。														
インスタグラムなどの活用	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを活用した広告宣伝活動を実施 ・ 月1回以上の活動を実施し、側面的な魅力の発信に努める。 							継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	低	
ホームページの更新	8	会員向けの宿泊特典を作成し、優良リピーター客を増やす。 《会員特典一例》 ・ 特典プランの料金割引→5%OFF ・ 館内利用券→飲料や売店での割引券 ・ 夕食時のワンドリンク付 など	アクセス数	人	32,621人	35,676人	33,445人	27,630人	32,452人	48,101人	56,021人	57,700人	59,500人	61,300人	63,200人	中

【異羽ハイソ分】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
インターネットからの予約数の向上	9	インターネット上で取引を行う旅行者（Online Travel Agent）の特集企画に参画し露出度アップを図りアクセス数を増やす。 ・ポイントユーザー対策として、ポイント還元率の高い特集に参画する。 ・割引クーポンの特集に参画する。 ・掲載プラン数を増やす。 ・大型連休期間など、アクセスが多い時期においてプラン在庫の管理を確実にする。 など	宿泊予定者数 件数	人 件	1,679人 698件		1,808人 737件	2,610人 1,275件	4,457人 1,926件	6,303人 2,684件	3,609人 1,439件	3,800人 1,800件	4,000人 1,950件	4,200人 2,050件	4,400人 2,100件	高
Wi-Fi環境の充実	10	現在のWi-Fiは、動画、データの大型化などにより、快適に使用できるよう再整備する。	建物附属設備費	千 円			700千円		990千円	0	394千円	450千円	0	0	0	中
宅配弁当の充実	11	経営の効率化から当項目は廃止	料理売上	千 円			47食 115千円	3,289食 11,324千円	3,827食 13,253千円	713食 2,505千円	0	0	0	0	0	低
人件費の節減	12	業務改善とマルチタスクを図る。 ・従来業務の必要性をゼロベースで見直とともに、手順の見直しによる作業の効率化を図る。また、他部署への応援などにより売上額に見合った人員管理を徹底する。	人件費	千 円	324,164 千円	288,448 千円	266,314 千円	201,802 千円	186,136 千円	195,857 千円	218,510 千円	200,514 千円	223,672 千円	239,396 千円	225,676 千円	中
料理原価率の削減	13	仕入原価の適正化、在庫管理の徹底と、ロスの防止	料理原材料費	%	39.3	38.5	38.8	45.8	42.9	43.5	38.9	38.5	38.3	38.1	37.9	高
大学生プランの利用促進	14	夏合宿の実績を「コロナ禍前へ」を目標に掲げ、達成に向けて下記の3項目を重点に継続実施する。 ・関西方面へセールスを強化し、誘客の増加を図る。 学生団体の誘客に強い旅行者と関西の大学サークルへ同行セールスを実施する。（目標獲得件数10件） ・新しいエージェントを開拓し、販路を拡大する。 関西地区以外のエリアにも重点セールス実施する。（目標獲得件数5件） ・文科系のサークルをターゲットにする。		人 千 円 件	2,400名 20,000千円	1,800名 15,000千円	2,000名 16,500千円	0名 0円	0名 0件	991名 8,541千円	1,650人 13,500千円	2,000人 10,320千円	1,400人 12,180千円 15件	1,600人 14,080千円 20件	1,800人 16,020千円 25件	中
資金返済計画(借入残高)	15	令和3年度、令和4年度、令和5年度の借入総額（令和6年度以降は見込額）		千 円	0	0	0	0	93,000 (県46,500) (市46,500)	138,000 (県69,000) (市69,000)	208,000 (県 104,000) (市 104,000)	308,000 (県 154,000) (市 154,000)	308,000 (県 154,000) (市 154,000)	308,000 (県 154,000) (市 154,000)	308,000 (県 154,000) (市 154,000)	高

【異羽ハイソ分】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
職場環境の改善	16	・意見箱を休憩所に設置し、幅広く意見を聞く。										7月から実施	継続実施	継続実施	継続実施	中
人材育成	17	シフト制による勤務形態を採っていることから、職員が一堂に会する機会が限られているため、管理者側から回数を限定することは困難であるが、当面は各部門の自主性を尊重した開催回数とする。 ◎部門全体研修；前期・後期 各1回 ◎職場内研修；随時 ◎市出前講座；2回/年										実施	継続実施	継続実施	継続実施	中

IV アクションプラン

【自遊館分】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
利用者数の増加	1	インターネットでの宿泊予約数の向上や旅行代理店への営業活動による団体客の獲得などの取組みを進め、利用者数を増加させる。	利用者数 ・会議・研修 ・宿泊 ・宴会 ・レストラン ・ホール	人	10,002	11,309	11,399	5,794	8,233	10,757	10,322	13,000	13,000	14,000	15,000	高
宿泊稼働率の向上	2	顧客満足度の向上や、インターネット、旅行代理店を通じた顧客獲得により、宿泊稼働率を向上させる。	宿泊稼働率	%	58.5	57.8	47.2	32.9	50.6	52.1	72.9	71.1	72.0	73.0	74.0	高
インターネットでの宿泊予約数の向上	3	宿泊予約サイト（じゃらん等）に対して最大限の販売機会を獲得できるサイトコントローラや、ウェブコンサルタントの活用により、インターネット販売の強化を図る。	予約数	人	4,124	3,656	3,270	2,891	4,840	5,296	8,984	8,800	8,900	9,000	9,100	中
旅行代理店への営業活動による団体客の獲得	4	旅行代理店への営業活動を強化し、スポーツ団体の合宿などの団体客の獲得を進め、売上の向上を図る。	席室料	千円	2,099	2,164	3,129	4,571	6,419	4,776	1,156	1,200	1,100	1,200	1,200	中
料理原価率の抑制	5	インフォーマット（食材等の受発注システム）を活用し、低価格での食材調達や原価管理の徹底により、料理の満足度を維持しながら、原価率を抑制し、費用削減を図る。	原材料費	%	39.3	36.1	36.4	46.0	42.9	41.4	36.3	35.0	35.0	35.0	35.0	高
飲物原価率の抑制	6	呉羽ハイツとの共同購入の実施や、販売価格の見直しにより、飲物の原価率を抑制し、費用削減を図る。	原材料費	%	31.4	32.0	31.5	33.8	32.8	31.0	30.3	31.0	25.0	25.0	25.0	中
清掃費の削減	7	委託により実施していた清掃業務を、繁閑に応じて変動費化させるため、令和4年度から直営で実施し、費用削減を図る。	需用費	千円	13,683	19,136	17,870	14,630	16,980	10,628	13,289	12,300	13,000	13,000	13,000	中
食器洗浄費の削減	8	委託により実施していた食器洗浄業務を、繁閑に応じて変動費化させるため、令和4年度から直営で実施し、費用削減を図る。	需用費	千円	12,124	14,410	14,410	14,410	16,000	4,138	10,822	9,080	10,000	10,000	10,000	高

【自遊館分】

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)							
借入金の削減	9	累積欠損金や運転資金に係る県・富山市からの借入金を経営改善により削減を図る。	短期借入金	千円	379,000 (県189,500) (市189,500)	377,500 (県188,750) (市188,750)	414,300 (県207,150) (市207,150)	495,000 (県247,500) (市247,500)	550,800 (県275,400) (市275,400)	634,700 (県317,350) (市317,350)	706,000 (県353,000) (市353,000)	706,000 (県353,000) (市353,000)	696,000 (県348,000) (市348,000)	681,000 (県340,500) (市340,500)	661,000 (県330,500) (市330,500)	高
顧客満足度の向上	10	宿泊アンケートから収集したお客様お要望等を実現・改善し顧客満足度の向上を図り、高評価（また利用する、多分利用する）の割合を高める。	宿泊	評価率%							80.4	82.0	83.0	84.0	85.0	高

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	公益財団法人富山市勤労者福祉サービスセンター	団体代表者	東澤 光明
所在地	大手町6番14（富山市民プラザ敷地内）	市団体所管課	商工労政課
設立年月日	平成7年4月	市出資割合	67%
事業の概要	富山市内の中小企業に勤務する勤労者等に対して総合的な福利厚生事業を行い、勤労者等の福祉の向上を図るとともに、中小企業の振興及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	14人
（内、市職員）※特別職含む	2人
（内、富山市OB）	1人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	6人
（内、正規職員数）	2人
（内、臨時・嘱託職員数）	4人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	27,980千円
（内、正規職員の年間総人件費）	17,116千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	10,864千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	17,988千円
職員人件費に対する富山市の負担率	64.3%
正規職員の平均人件費	8,558千円
非正規職員の平均人件費	2,716千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	52歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	100,162	100,717	106,116	108,730	108,135	111,488	112,574千円
負債の部合計	24,125	25,617	27,130	27,591	27,564	30,298	32,032千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	76,037	75,100	78,986	81,139	80,571	81,190	80,542千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	148,795	150,196	147,456	131,199	130,623	134,043	133,895千円
経常費用	149,359	151,152	143,591	129,066	131,212	133,445	134,572千円
収支差額	-564	-956	3,865	2,133	-589	598	-677千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	0	0	0	0千円
市支出 補助金	17,063	17,846	17,724	17,988千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-17,063	-17,846	-17,724	-17,988千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	17,063,000	19,863,000	19,759,000	19,795,000	19,832,000	-2,769,000
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	-563,689	-1,400,000	-81,720	206,280	553,280	1,116,969
合計	17,626,689	21,263,000	19,840,720	19,588,720	19,278,720	-1,652,031

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用益	267,064	222,000	222,000	222,000	222,000
特定資産運用益	6,906	2,000	2,000	2,000	2,000
受取会費	68,825,500	66,000,000	66,060,000	66,150,000	66,300,000
事業収益	61,897,422	55,508,000	56,921,000	57,195,000	57,471,000
受取補助金等	17,063,000	19,863,000	19,759,000	19,795,000	19,832,000
雑収益	735,065	727,000	784,200	784,200	784,200
経常収益計	148,794,957	142,322,000	143,748,200	144,148,200	144,611,200
事業費	140,722,519	134,078,101	134,164,820	134,253,820	134,346,820
管理費	8,636,127	9,643,899	9,665,100	9,688,100	9,711,100
経常費用計	149,358,646	143,722,000	143,829,920	143,941,920	144,057,920
当期経常増減額	-563,689	-1,400,000	-81,720	206,280	553,280
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-563,689	-1,400,000	-81,720	206,280	553,280
純資産・正味財産	76,036,266	78,339,000	78,257,280	78,463,560	79,016,840

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
年平均会員数の増	1	富山商工会議所、各商工会、業界団体等へ働き掛け、当センターの周知を図る。 R3予算をベースに毎年1%増。 近隣市町村の勤労者への周知についても検討する。	会員数	人	11,473	11,465	11,422	11,210	10,923	10,737	10,670	11,000	11,010	11,025	11,050	高
情報発信機能の強化	2	HPを活用し、こまめな情報発信と周知を図る。 アクセス数の増。	HPアクセス数	件	12,384	13,273	15,021	12,587	16,300	22,547	23,310	24,000	24,120	24,240	24,360	高
事務局体制の見直し	3	市OBに係る経費の削減。専務理事の事務局長兼務。 R6より部局長級2名→部局長級1名														低
折込チラシ収入の増	4	折込チラシの活用を呼び掛け、雑収入の増加を図る。	雑収益	円	500,635	659,948	744,545	540,085	584,642	723,745	730,154	627,000	677,000	731,000	789,000	中
PR方法の見直し	5	市広報への掲載について検証し、場合によっては取りやめる。	印刷製本費	円	397,800	306,160	101,480	113,100	118,320	118,320	134,750	140,000	140,000	140,000	140,000	低
					1頁 2回	1頁 1回 0.5頁 1回	0.5頁 1回									
物販の検討	6	新たな収入確保の手段として物品販売について検討する。	雑収益	円						42,450	37,400	0	40,000	40,000	40,000	中

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	公益財団法人富山市ファミリーパーク公社	団体代表者	美濃部 雄人
所在地	古沢254番地（ファミリーパーク敷地内）	市団体所管課	公園緑地課
設立年月日	昭和58年4月	市出資割合	100%
事業の概要	動物と自然を通じた福祉の増進に寄与することを目的として、富山市ファミリーパーク（動物園、小型の遊園地）の管理運営事業を行う。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	10人
（内、市職員）※特別職含む	3人
（内、富山市OB）	2人
常勤役員の年間平均給与額	4,584千円
常勤役員の平均年齢	64歳

職員総数	44人
（内、正規職員数）	26人
（内、臨時・嘱託職員数）	18人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	275,276千円
（内、正規職員の年間総人件費）	197,989千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	77,287千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	275,276千円
職員人件費に対する富山市の負担率	100%
正規職員の平均人件費	7,615千円
非正規職員の平均人件費	4,294千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	40歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	265,026	273,623	291,533	289,655	224,267	222,239	240,873千円
負債の部合計	214,090	223,335	242,853	241,655	171,764	166,954	180,329千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	50,936	50,288	48,680	48,000	52,503	55,285	60,544千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	434,753	441,946	450,898	438,257	420,799	455,081	462,413千円
経常費用	440,257	447,383	452,786	439,744	422,919	459,889	466,322千円
収支差額	-5,504	-5,437	-1,888	-1,487	-2,120	-4,808	-3,909千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	128,903	134,473	146,070	141,544千円
市支出補助金	259,633	252,524	260,801	269,689千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入使用料	66,205	53,650	68,195	56,266千円
収支差額	-322,332	-333,347	-338,676	-354,967千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	388,535,230	433,564,000	431,742,000	430,894,000	438,839,000	-50,303,770
2. 市の使用料分	66,204,500	58,167,000	70,445,000	73,820,000	109,882,000	43,677,500
3. 団体経常利益の推移	389,509	0	2,284,000	4,536,000	7,338,000	6,948,491
合計	321,941,221	375,397,000	359,013,000	352,538,000	321,619,000	322,221

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用益	22,500	0	0	0	0
特定資産運用益	70,984	0	0	0	0
寄付金収入	※(26,829,944)	0	0	0	0
事業受託収益	128,902,605	142,363,000	142,705,000	142,705,000	142,705,000
事業収益	38,550,651	48,500,000	51,500,000	54,500,000	58,200,000
受取補助金等	266,561,161	291,201,000	289,037,000	288,189,000	296,134,000
その他の経常収益	644,881	0	0	0	0
経常収益計	434,752,782	482,064,000	483,242,000	485,394,000	497,039,000
事業費	417,506,959	463,037,000	463,714,000	463,452,000	472,129,000
管理費	22,749,953	26,676,000	24,893,000	25,055,000	25,221,000
経常費用計	440,256,912	489,713,000	488,607,000	488,507,000	497,350,000
当期経常増減額	-5,504,130	-7,649,000	-5,365,000	-3,113,000	-311,000
経常外収益計	5,893,639	7,649,000	7,649,000	7,649,000	7,649,000
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	5,893,639	7,649,000	7,649,000	7,649,000	7,649,000
当期一般正味財産増減額	389,509	0	2,284,000	4,536,000	7,338,000
純資産・正味財産	4,386,587	10,672,147	12,956,147	17,492,147	24,830,147

※平成29年度の寄付金収入について、経営改善計画上、除外対象としている。

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
入園料及び使用料の増加	1	富山市と入園料や遊具使用料の値上げを検討し、増収を図る。令和9年度からの改定を目指し、7年度に利用者アンケートや国内類似施設の調査等を行い、8年度には具体的な改定内容について協議・調整を行う。	入園料 遊具使用料	円	入園料 41,811千円 遊具 24,394千円	入園料 34,589千円 遊具 19,511千円	入園料 38,016千円 遊具 20,838千円	入園料 34,713千円 遊具 16,491千円	入園料 34,915千円 遊具 18,735千円	入園料 42,302千円 遊具 25,893千円	入園料 36,698千円 遊具 19,568千円	入園料 38,167千円 遊具 20,000千円	入園料 38,435千円 遊具 25,395千円	入園料 40,270千円 遊具 26,620千円	入園料 58,947千円 遊具 43,690千円	高
経営企画事業の充実	2	社会動向や情勢、入園者のニーズに応じた入園者サービスのさらなる向上を目指し、企画運営、組織体制などについて検討し、入園者の増加につなげる。 また、事業やイベントごとに実施状況や参加者の反応などを参考に内容のブラッシュアップに努めるとともに、効果的な周知方を検討し、参加者数について令和5年度実績の10%増を目指す。	入園者数 有料入園者数（パスポート利用除く） イベント参加者数	人	入園者 330,781人 有料入園者 72,390人 イベント 140,491人	入園者 308,400人 有料入園者 60,730人 イベント 126,820人	入園者 348,101人 有料入園者 67,384人 イベント 119,013人	入園者 272,158人 有料入園者 60,202人 イベント 80,613人	入園者 267,976人 有料入園者 61,672人 イベント 47,762人	入園者 297,677人 有料入園者 75,513人 イベント 97,729人	入園者 237,335人 有料入園者 66,032人 イベント 83,231人	入園者 300,000人 有料入園者 66,000人 イベント 84,000人	入園者 315,000人 有料入園者 78,750人 イベント 86,000人	入園者 330,000人 有料入園者 82,500人 イベント 89,000人	入園者 345,000人 有料入園者 86,250人 イベント 92,000人	高
ライチョウの保全（繁殖や野生復帰）の取り組みとその展示および情報発信による入園者増	3	環境省のライチョウ保護増殖事業計画の生息域外保全実施計画、及び（公社）日本動物園水族館協会のライチョウ保全計画に基づいた飼育・繁殖技術の確立に向けた取り組みを情報発信することで入園者の増加を図る。 また、ライチョウ基金への寄付を募りながら、基金を有効に活用し、ライチョウの保全および普及啓発を推進する。			クラウドファンディングによる寄附金 26,829,944円	寄附金実績 402,676円	寄附金実績 280,757円	寄附金実績 806,267円	寄附金実績 623,679円	寄付金実績 448,381円	寄附兼実績 1,008,092円					高
希少野生動物の保全（繁殖）の取り組みとその展示および情報発信による入園者増	4	希少種の保全に関する技術開発および人材育成に努め、希少動物の飼育、繁殖技術開発および人材育成に取り組み、永続的な生物多様性の保全を目的とした公益事業を推進する。 また、ヨウム繁殖プロジェクト事業をはじめ、希少動物保全に関する解説等を実施し普及啓発に務め、その成果を情報発信し、入園者の増加につなげる。							希少動物保全基金を設立した。 希少動物保全基金実績 6,000,000円	希少動物保全基金実績 7,140,328円	希少動物保全基金 7,907,789円					高
ファミリーパークの特徴を活かしたプログラムの企画による入園者増	5	自然の中で展示動物をみることができるといふファミリーパークの特徴を活かし、生き物の多様性や自然の仕組みなどを楽しむことができる多様なプログラムを企画実施し、幅広い対象者の利用を促進し、入園者の増加を図る。 また、これらのプログラムを学校教育にも活用できるものとし、学校に周知することで、教育団体の入園者増加に努める。	イベント参加者数 入園者数 団体利用者数 (項目1,2,6と共通)						0	プログラムの実施	プログラムの実施					高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題									目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)			
団体利用の促進	6	新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も減少している入園者数の回復を目指し、団体利用者の増加を目的として、県内外の幼稚園、保育所、小中学校や各種グループ、シニア層の団体等への誘致活動の強化を図る。	入園者数	人			303団体 20,890名	132団体 7,934名	238団体 16,448名	281団体 17,910名	264団体 16,385名	265団体 17,000名	270団体 17,550名	285団体 18,525名	300団体 19,500名	中		
地域連携事業の充実	7	富山市で整備を進めている呉羽丘陵フットパスやいのちの集い、悠久の森などの枠組みを活用し、富山市や県内の大学、各種団体など産学官民と協働で、健康、スポーツ、文化、自然などの行事や催物を企画実施し、幅広い年齢層の利用促進に努め、入園者増を図る。また、隣接する富山ガラス工房との連携を更に強化し、相互にイベント・事業の紹介展示を行うことや、コラボレーション企画の実施について検討する。							0	呉羽丘陵フットパス 月いちウオークの拠点施設として多様な活用を推進した。	呉羽丘陵フットパス 月いちウオークの拠点施設として多様な活用を推進した。	呉羽丘陵の拠点施設として、多様な活用を推進する。	呉羽丘陵の活動拠点としての企画の検討	ガラス工房・呉羽ハイツ等の近隣施設とのコラボイベントの実施	ガラス工房・呉羽ハイツ等の近隣施設とのコラボイベントの実施	中		
ボランティア活動支援事業の充実	8	市民いきものメイト、企業、奉仕団体等による園内での整備活動などのボランティア活動を支援するとともに、新たな活動団体の園内誘致に努めながら各種事業の充実を図り、入園者の増加につなげる。								0	整備活動を中心として、延べ132日 3,505人の参加実績となった。	整備活動を中心として、延べ144日 3,560人の参加実績となった。	145日 3,600人	150日 3,700人	155日 3,800人	155日 3,800人	中	
遊園地事業	9	大型遊具の使用料は、安定した収入である。しかし、老朽化が進んでいることから、安定した収入を持続させるために、大型遊具の更新を検討する。	遊具使用料	円	24,393千円	19,511千円	20,838千円	16,490千円	18,735千円	25,893千円	19,567千円	20,000千円	25,395千円	26,620千円	43,690千円	中		
広告料の削減	10	コストを抑えつつ効果的な広告戦略を検討する。特にホームページ、SNS等を活用した情報提供を強化し、それぞれの媒体の閲覧回数について令和5年度実績の20%増を目指す。また、市の関連施設・団体にもイベントのチラシを配置してもらう他、新たな広告媒体の利用などについて検討する。また、富山市観光協会と協力しファミリーパークのチラシを設置してもらい、幅広い層への周知に努める。	事業費 広告料 HP閲覧数 YouTube再生数 フェイスブック・フォロワー数	円	3,832千円	3,756千円	4,264千円	3,458千円	3,195千円	3,776千円	3,949千円 HP 838.558件 YouTube 110,534回 FB 4,071人	3,852千円 HP 87 万件 YouTube 114千回 FB 4,200人	3,900千円 HP 90 万件 YouTube 118千回 FB 4,400人	3,850千円 HP 95万件 YouTube 125千回 FB 4,700人	3,850千円 HP 100万件 YouTube 132千回 FB 5,000人	高		

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
特別会計(食堂・売店・ホースライド事業)の収益の改善	11	オリジナルメニューやオリジナル商品を開発し、増収に努める。ライチョウ関連の一部の商品については、売上の一部をライチョウ基金に寄付できるようにし、ライチョウ事業の推進を図りながら特別会計の増収を図る。 動物や各種催物と連動した企画を検討し、販売促進に努める。	売上高	円					1,078千円 (増益額)	685千円 (増益額)		48,500 千円	50,500 千円	52,500 千円	54,500 千円	高

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	公益財団法人富山市学校給食会	団体代表者	宮口 克志
所在地	掛尾町500番地	市団体所管課	学校保健課
設立年月日	昭和56年4月	市出資割合	100%
事業の概要	富山市内の市立小学校・中学校・幼稚園における給食の円滑な実施及び適正な運営を図り、もって園児・児童の健全な発達に寄与することを目的とする団体で、学校給食用食材の調達業務を行っている。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	8人
（内、市職員）※特別職含む	2人
（内、富山市OB）	1人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	7人
（内、正規職員数）	4人
（内、臨時・嘱託職員数）	3人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	36,345千円
（内、正規職員の年間総人件費）	24,039千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	12,506千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	36,345千円
職員人件費に対する富山市の負担率	100%
正規職員の平均人件費	6,009千円
非正規職員の平均人件費	4,102千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	40歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	168,690	169,803	136,380	177,440	159,692	165,747	165,711千円
負債の部合計	139,619	140,304	105,810	147,268	130,344	137,006	136,563千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	29,071	29,499	30,570	30,172	29,348	28,741	29,148千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	1,902,909	1,789,055	1,661,366	1,674,716	1,827,975	1,915,155	1,958,888千円
経常費用	1,902,913	1,788,629	1,660,209	1,675,137	1,828,143	1,915,762	1,958,482千円
収支差額	-4	426	1,157	-421	-168	-607	406千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	0	0	0	0千円
市支出 補助金	27,806	26,488	27,725	27,375千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-27,806	-26,488	-27,725	-27,375千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	27,806,359	27,607,000	27,866,000	28,345,000	28,449,000	-642,641
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	-3,685	0	0	0	0	3,685
合計	27,810,044	27,607,000	27,866,000	28,345,000	28,449,000	-638,956

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用益	2,499	200	200	200	200
特定資産運用益	5,248	397	397	397	397
事業収益	1,864,078,679	1,764,639,000	1,832,693,000	1,778,982,000	1,823,195,000
受取補助金等	38,567,363	170,949,000	40,090,000	40,539,000	40,623,000
雑収益	255,364	875,000	875,000	905,000	925,000
経常収益計	1,902,909,153	1,936,463,597	1,873,658,597	1,820,426,597	1,864,743,597
事業費	1,889,774,797	1,920,922,200	1,858,126,439	1,804,788,149	1,849,033,690
管理費	13,138,041	15,541,397	15,532,158	15,638,448	15,709,907
経常費用計	1,902,912,838	1,936,463,597	1,873,658,597	1,820,426,597	1,864,743,597
当期経常増減額	-3,685	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外費用計	1	0	0	0	0
当期経常外増減額	-1	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-3,686	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	3,687	321	321	321	321
純資産・正味財産	29,070,354	29,771,949	29,772,270	29,772,591	29,772,912

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)	
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)		
バナー広告の導入	1	・ 納入業者等のバナー広告の募集	雑収益	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	50,000	低

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	一般財団法人富山市大沢野健康文化推進財団	団体代表者	広瀬 圭一
所在地	春日96番1（ウィンディ敷地内）	市団体所管課	福祉政策課
設立年月日	平成9年1月	市出資割合	100%
事業の概要	①富山市大沢野健康福祉センター（ウィンディ）の管理運営 ②富山市大沢野老人福祉センターの管理運営 ③富山市大沢野地域スポーツ施設の管理運営 ④富山市大沢野地域都市公園の管理運営 ⑤富山市猿倉山森林公園の管理運営		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	8人
（内、市職員）※特別職含む	3人
（内、富山市OB）	4人
常勤役員の年間平均給与額	4,201千円
常勤役員の平均年齢	63歳

職員総数	31人
（内、正規職員数）	5人
（内、臨時・嘱託職員数）	26人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	104,473千円
（内、正規職員の年間総人件費）	33,703千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	70,770千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	104,473千円
職員人件費に対する富山市の負担率	100%
正規職員の平均人件費	6,741千円
非正規職員の平均人件費	2,722千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	45歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	101,115	98,116	104,658	121,675	122,858	117,155	124,559千円
負債の部合計	66,709	63,415	70,082	86,194	85,326	79,172	85,914千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	34,406	34,701	34,576	35,481	37,532	37,983	38,645千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	304,136	313,083	326,186	275,699	321,969	336,870	347,204千円
経常費用	307,004	312,789	326,310	274,794	319,918	336,419	346,541千円
収支差額	-2,868	294	-124	905	2,051	451	663千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	119,264	164,820	162,773	163,023千円
市支出補助金	56,661	59,006	60,608	59,518千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入使用料	5,085	1,958	2,460	3,070千円
収支差額	-170,840	-221,868	-220,921	-219,471千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	165,550,196	199,236,000	173,335,000	168,275,000	166,333,000	-782,804
2. 市の使用料分	5,084,520	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	-2,084,520
3. 団体経常利益の推移	-2,867,710	0	0	0	0	2,867,710
合計	163,333,386	196,236,000	170,335,000	165,275,000	163,333,000	386

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産受取利息	5,506	2,000	2,000	2,000	2,000
事業収益	128,032,260	111,346,000	125,864,000	131,767,000	135,856,000
受取受託金	119,263,851	111,632,000	85,279,000	79,376,000	75,287,000
受取補助金等	56,661,000	105,585,000	106,037,000	106,880,000	109,027,000
雑収益	173,305	193,000	205,000	205,000	205,000
経常収益計	304,135,922	328,758,000	317,387,000	318,230,000	320,377,000
事業費・管理費	307,003,629	328,758,000	317,387,000	318,230,000	320,377,000
経常費用計	307,003,629	328,758,000	317,387,000	318,230,000	320,377,000
当期経常増減額	-2,867,707	0	0	0	0
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	3	0	0	0	0
当期経常外増減額	-3	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,867,710	0	0	0	0
純資産・正味財産	34,406,304	38,195,127	38,195,127	38,195,127	38,195,127

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)							
【健康福祉センター・老人福祉センター】 利用者数の増加	1	下記のアクション等に取り組むことで、両施設の利用者数及び会員数の増加を図る。	【健康福祉センター】 ・個人会員利用者数 ・法人会員利用者数 ・一般利用者数 【老人福祉センター】 ・利用者数	人	230,405 27,582 62,418	229,781 29,090 61,049	222,519 31,008 54,407	104,881 13,139 13,349	156,094 20,446 27,520	176,066 24,872 42,065	187,935 28,177 58,504	160,000 25,000 55,000	200,000 29,000 59,000	209,000 30,000 60,000	219,000 31,000 61,000	高
【健康福祉センター】 コスト削減	2	閉館時間の見直しにより、重油・電気・源泉・LPガス使用料を削減する。 ① 4月～11月の平日・土曜日の閉館時間を早める（22時⇒21時） ② 1月1日を休館日とする	① 1時間短縮効果 ・燃料費△1,187 ・光熱水費△3,318 ・人件費△798 ・利用料収入減+392 計 △4,911	千円	66,864	72,341	70,324	34,081	60,505	70,466	72,300	105,767	106,465	106,465	106,465	高
【健康福祉センター・老人福祉センター】 老朽化した熱源設備等の更新によるランニングコストの削減 (ESCO事業の導入検討)	3	①耐用年数が過ぎ老朽化した熱源設備等を更新する方策としてESCO事業化を検討してきた。 ②近年、重油、ガス、電気料金が高騰し、更に資材費の値上げにより、ESCO事業は成立の見通しが立たなくなった。 ③従来からの重油方式で熱源機器を更新することでイニシャルコストの低減とランニングコストで10,540千円/年のエネルギーコストが削減できるとの試算をし、最適な更新方法であると判断できた。 ④R6当初予算には熱源機器更新の予算を計上することが出来た。 ⑤設備を更新することによりランニングコストを削減していく。	燃料費及び光熱水費 △10,540	千円	93,250	100,595	96,372	56,636	83,503	97,277	100,032	118,167	113,278	113,278	113,278	高
【健康福祉センター・老人福祉センター】 コスト削減（上下水道）	4	シャワー機器及び水道の節水機器を導入し、コストを削減する。	光熱水費	千円	37,416	37,483	35,674	17,354	25,329	28,907	29,575	30,000	30,000	30,000	30,000	高
【健康福祉センター】 コスト削減（経費）	5	シルバー人材センターの活用見直し（事務手数料の削減）	委託費	千円	700	318	0	0	0	0	0	0	0	0	0	高
【健康福祉センター】 事業収入の増加	6	年間ビジター利用者の50%以上を占める7・8月のビジター利用者にリピーターしてもらい増収を図るため、9月以降に利用できる半額券を導入する。	利用料収入	千円	-	-	-	-	740	1,685	465	500	500	500	500	高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題						目標数値				重要度 (高・中・低)	
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		R9年度
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)		(計画)
【健康福祉センター】 事業収入の増加	7	LINE公式アカウントを導入し、施設情報やイベント情報、割引情報をリアルタイムに提供することにより利便性と増収を図る。	閲覧数	人	-	-	-	-	601/人	757	940	1,000	1,000	1,000	1,000	高
【健康福祉センター】 事業収入の増加	8	会員料金を改定し、会費収入の増収を図る。 まず、平成31年4月1日より、会員料金の改定。 ① 個人会員の女性会員及びファミリーとグループの割引会員を廃止し、一般・シニア・中学生・小学生の会員料金とする。 ② 月会員の会費は、条例の限度額まで引き上げ、シニアには配慮。 ③ 年会員の会費は、月会員の10カ月 → 10.5カ月にする。 ④ 法人会員の会費は、20%程度引き上げ。 ⑤ コロナにより減少した会員の増加策として期間限定で会期延長等の入会特典の検討・導入を図る。	会費収入	千円	59,807	59,629	63,501	21,033	54,302	57,086	54,759	47,216	58,030	60,730	63,158	高
【健康福祉センター】 事業収入の増加	9	ピジター料金を改定し、利用料金収入の増収を図る。 平成31年4月1日の改定。 ① 浴室の幼児（3歳以上小学生未満）の料金を廃止。 ② 「プール・バーデ・浴室共通」、「トレーニング」料金を10%程度引き上げ「トレーニング&入浴」の料金を廃止。 以下令和7年4月1日改定を目指す ③ 「浴室」の料金は、市の類似施設と統一して料金改定する。 大人：650円⇒750円 ④ 法人利用券の料金改定 360円⇒460円	利用料収入	千円	57,252	56,252	54,783	12,787	27,708	42,567	57,497	54,092	57,402	60,605	62,266	高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
【健康福祉センター】 事業収入の増加	10	ビジター割引導入により利用者の増加を図り、利用料金収入の増収を図る。 ① 7・8月を除く毎週日曜日のプール利用で保護者同伴の小学生以下半額割引制度を導入し、利用者増を図る。 【適用条件】 ・保護者もプールを利用する1家族子供3名まで(団体利用を除く) ② 隣接宿泊施設利用者の割引	利用料金収入	千円	0	-	1,246	140	719	1,336	1,499	1,500	1,500	1,500	1,500	高
【健康福祉センター】 事業収入の増加	11	ビジター割引導入により利用者の増加を図り、利用料金収入の増収を図る。 ① プール利用のビジターを対象に、10回利用して1回無料にするスタンプカードを導入。 【適用条件】 ・大人、子供の区別なく1回利用毎に1人1ポイントとし、10ポイントで1回無料とする。(団体利用を除く) (例) 1家族(大人1人、子供2人利用で、3ポイント)、無料の利用は大人・子供どちらかを、利用者が選択する。 ② コロナにより減少したビジター増加策として期間限定で、ビジター家族割引等によりビジターの増収を図る。	利用料金収入	千円	0	-	-	450	1,376	2,158	2,911	3,000	3,000	3,000	3,000	高
【健康福祉センター・老人福祉センター】 施設管理及び施設清掃部門の業務委託	12	施設管理及び施設清掃部門の人員確保が困難なため、運営への支障を防止し、安定した運営を確保するため、業務委託へ移行。 業務委託に伴う経費増大分の財源確保のため、経費削減と必要な増収を図る。 ① リネン費の削減、リネンレンタル・販売の増加による増収 ② 施設管理・清掃部門の人件費削減	委託費	名	16名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	16名⇒0名	高
施設PRの改善(インターネットのアクセス数の改善)	13	施設の特徴や割引制度を分かりやすく、アクセス数も把握できるようホームページを改善する。	閲覧数	回	10,000回/年	15,500回/年	29,100回/年	30,000回/年	51,321回/年	55,956	67,844/年	60,000回/年	65,000回/年	67,500回/年	70,000回/年	高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)	
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)		
【健康福祉センター・老人福祉センター】 イベントの実施による利用者の増加	14	年間を通し、季節に応じたイベントを企画し、利用者を増やす。 (例) ①ゴールデンウィークイベント ②母の日、父の日、老人週間イベント ③夏休みイベント ④ハロウィン、クリスマス、お雛様イベント ⑤新春イベント ⑥ウォーキングのつどい ⑦新鮮野菜の販売コーナー設置 ⑧その他多彩なイベント	販促企画	回	18回/年	24回/年	24回/年	12回/年	12回/年	24回/年	高						
【健康福祉センター】 教室の実施による個人会員の増加	15	各種教室を企画し、個人会員を増やす。 (例) ①水中ウォーキング教室 ②水泳教室 ③子育て支援教室 ④簡単エアロビ・ズンバ・太極拳・ヨガ教室 ⑤フレイル予防教室 ⑥シニアライフ講座 (民謡・男性料理・スマホ・ウォーターウォーク)	健康づくり教室	教室	9教室/年	12教室/年	12教室/年	6教室/年	8教室/年	11教室/年	10教室/年	10教室/年	10教室/年	10教室/年	10教室/年	10教室/年	高
定例会議の開催	16	毎月2回、定例会議を開催。 各部門毎に実施状況、課題、改善策等について報告させ、その内容について協議し、意識の共有化を図る。	定例会議	回	毎月2回	毎月2回	毎月2回	毎月2回	毎月3回	毎月2回	毎月3回	毎月3回	毎月3回	毎月3回	毎月3回	毎月3回	高
【健康福祉センター】 託児サービスの実施 (子育て世帯の支援による利用数の増加)	17	子育て世帯が安心して当施設を利用できるよう新規事業として託児サービスを開設する。(生後3か月から3歳までの乳幼児を対象に施設利用者の子供をお預かりするもの) 子育て世帯を支援しながら利用者数増加を図る。また、若年層の取込により今後の安定的な収益の確保並びに会員数の増加にも繋げる。	利用者数	回								毎月約17回	毎月約17回	毎月約17回	毎月約17回	高	

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	公益財団法人富山市生活環境サービス	団体代表者	西田 政司
所在地	辰尾131	市団体所管課	環境政策課
設立年月日	平成8年3月	市出資割合	100%
事業の概要	公共用水域の水質保全及び向上に寄与し、生活環境を保護することを目的とする。 ①集合排水処理施設や個別排水処理施設の維持管理事業、②し尿の収集運搬事業		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	7人
（内、市職員）※特別職含む	2人
（内、富山市OB）	2人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	41人
（内、正規職員数）	25人
（内、臨時・嘱託職員数）	16人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	230,108千円
（内、正規職員の年間総人件費）	180,852千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	49,256千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	153,975千円
職員人件費に対する富山市の負担率	67%
正規職員の平均人件費	7,234千円
非正規職員の平均人件費	3,284千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	47歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	540,098	557,914	543,291	531,791	551,862	539,728	542,630千円
負債の部合計	109,606	94,393	70,068	64,124	74,849	67,687	75,945千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	430,492	463,521	473,223	467,667	477,013	472,041	466,685千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	411,882	397,561	360,162	355,848	379,780	335,918	346,162千円
経常費用	388,807	359,292	363,604	364,746	371,440	345,709	351,998千円
収支差額	23,075	38,269	-3,442	-8,898	8,340	-9,791	-5,836千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	131,164	114,088	115,232	119,745千円
市支出 補助金	131,027	94,803	96,442	95,411千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-262,191	-208,891	-211,674	-215,156千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	262,191,144	221,316,000	210,534,000	210,372,000	208,507,000	53,684,144
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	23,075,627	3,818,000	2,804,000	2,794,000	293,000	-22,782,627
合計	239,115,517	217,498,000	207,730,000	207,578,000	208,214,000	30,901,517

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用益	8,969,842	213,000	213,000	213,000	213,000
特定資産運用益	198,943	903,000	1,787,000	1,799,000	1,791,000
事業収益	261,431,290	235,212,000	240,503,000	230,787,000	229,479,000
受取補助金等	141,160,074	112,524,000	109,466,000	109,993,000	108,128,000
雑収益	122,251	616,000	729,000	718,000	725,000
経常収益計	411,882,400	349,468,000	352,698,000	343,510,000	340,336,000
事業費	384,329,544	340,859,531	344,930,020	335,723,528	335,039,104
管理費	4,477,229	4,790,469	4,963,980	4,992,472	5,003,896
経常費用計	388,806,773	345,650,000	349,894,000	340,716,000	340,043,000
当期経常増減額	23,075,627	3,818,000	2,804,000	2,794,000	293,000
経常外収益	407,170	0	0	0	0
経常外費用	11,000	0	0	0	0
当期経常外増減額	396,170	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	23,471,797	3,818,000	2,804,000	2,794,000	293,000
法人税・住民税及び事業税	6,610,000	0	0	0	0
純資産・正味財産	430,492,501	463,439,970	466,243,970	469,037,970	469,330,970

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
新規業務や顧客の獲得	1	ここ数年出店が相次ぐ全国チェーンの喫茶店などの産業廃棄物汚泥収集運搬業務を受注できるよう民間の廃棄物処理業者とタイアップして新規獲得に努めてきたが、民業圧迫にならないよう留意し、今後は浄化槽管理業務の顧客に対して浄化槽事業以外の業務をチラシを配るなどして紹介し、財団の経験・技術・車両等を活かせる業務の獲得を目指す。	環境保全事業収益 (市以外) 施設維持管理事業 収益 (市以外)	千 円	261	261	875	4,263	4,695	2,194	1,058	822	1,000	1,000	1,000	低
業務継続のための体制見直し	2	し尿・浄化槽業務の最後の受け皿(将来的な業務の広域化)となり、今後も公益目的事業を継続できるような体制について、不断の見直しを行う。			持続可能な経営を行っていくための職員数の見極め							業務の見直しと組織最適化の検討会を月1回実施	高			
職員の資格取得及び研修	3	完全撤退の意向を示した民間業者や廃業を検討している個人業者から廃水処理施設や浄化槽等の維持管理業務を引き受けたが、これらの施設も含めて安全で高品質なサービスの提供が求められることから、業務量の増加や慣れない作業に対応するために必要な資格の取得や研修・講習会の受講の機会を職員に与える。			業務上必要な資格等を全職員が取得するには至っていない。							安全に業務を遂行するために必要な資格(化学物質管理者、保護具着用管理責任者など)や職場の働きやすい雰囲気づくりのためのコミュニケーション能力向上を目的とする研修(年2回実施)などを若手職員を中心に積極的に受講させる。	中			

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	公益財団法人富山市スポーツ協会	団体代表者	品川 祐一郎
所在地	富山市婦中町速星754	市団体所管課	スポーツ健康課
設立年月日	昭和54年4月	市出資割合	51%
事業の概要	①スポーツ施設等を活用したスポーツ普及振興に係る各種事業 ②市を代表するスポーツ施設（総合体育館等）、市の各地域にある中核的スポーツ施設（体育文化センター等）、地域生活に根差した様々なスポーツ施設（花木体育センター等）の管理運営、野外教育活動センターの管理運営		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	47 人
（内、市職員）※特別職含む	5 人
（内、富山市OB）	1 人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	116 人
（内、正規職員数）	22 人
（内、臨時・嘱託職員数）	94 人
（内、市派遣職員数）	0 人
職員総人件費	348,302 千円
（内、正規職員の年間総人件費）	164,713 千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	183,589 千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0 千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	328,906 千円
職員人件費に対する富山市の負担率	94%
正規職員の平均人件費	7,487 千円
非正規職員の平均人件費	1,953 千円
市派遣職員の平均人件費	- 千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	48 歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	826,076	843,574	828,497	878,739	795,610	816,702	851,182 千円
負債の部合計	328,104	337,573	350,087	418,703	331,738	353,744	381,763 千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0 千円
資本の部合計	497,972	506,001	478,410	460,036	463,872	462,958	469,419 千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	1,158,416	1,170,629	1,132,179	1,108,934	911,010	964,197	1,005,143 千円
経常費用	1,137,129	1,165,924	1,159,771	1,123,898	910,274	965,281	999,183 千円
収支差額	21,287	4,705	-27,592	-14,964	736	-1,084	5,960 千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	611,622	460,457	507,746	517,129 千円
市支出 補助金	397,524	305,938	311,261	318,310 千円
借上料	0	0	0	0 千円
市収入 使用料	185,378	94,271	101,100	108,574 千円
収支差額	-823,768	-672,124	-717,907	-726,865 千円
貸付金残高	0	0	0	0 千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	1,009,146,575	877,511,000	884,383,000	635,720,000	635,720,000	373,426,575
2. 市の使用料分	185,378,100	122,364,000	48,364,000	42,364,000	46,600,400	-138,777,700
3. 団体経常利益の推移	21,286,506	-12,116,000	-15,134,000	-13,124,000	-12,507,000	-33,793,506
合計	802,481,969	767,263,000	851,153,000	606,480,000	601,626,600	200,855,369

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用益	2,303,800	3,498,000	3,498,000	3,498,000	3,498,000
特定資産運用益	541,991	729,000	728,000	728,000	728,000
受取会費	2,565,000	2,740,000	2,740,000	2,740,000	2,740,000
事業収益	713,397,011	661,821,000	622,588,000	383,420,000	384,037,000
受取補助金等	439,592,267	410,725,000	409,142,000	397,379,000	397,379,000
受取寄付金	0	0	0	0	0
受取負担金	0	213,000	206,000	206,000	206,000
雑収益	15,646	9,000	0	0	0
経常収益計	1,158,415,715	1,079,735,000	1,038,902,000	787,971,000	788,588,000
事業費・管理費	1,137,129,209	1,091,851,000	1,054,036,000	801,095,000	801,095,000
経常費用計	1,137,129,209	1,091,851,000	1,054,036,000	801,095,000	801,095,000
当期経常増減額	21,286,506	-12,116,000	-15,134,000	-13,124,000	-12,507,000
経常外収益計	5,492	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	5,492	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	21,291,998	-12,116,000	-15,134,000	-13,124,000	-12,507,000
純資産・正味財産	497,971,504	457,302,991	442,168,991	429,044,991	416,537,991

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
第2次たいきょうスポーツ プランの策定	1	第1次たいきょうスポーツプランでは主に事業への参加者数などを成果目標として設定していた。 令和4年度から実施する第2次たいきょうスポーツプランでは主に自主事業について成果目標を掲げることとしている。 目標では一時的な成果を求めるのではなく、普遍性、継続性を持たせた項目を掲げ、将来にわたりスポーツに対する機運が醸成されるスポーツ活動の推進を進めるものとする。 令和4年度から10年間の計画とするが、5年後の令和8年度には社会状況の変化に応じて成果目標の見直しを実施予定。							プラン策定	3/6指標が達成	4/6指標の達成	6/6指標の達成	6/6指標の達成	6/6指標の達成	目標の見直し	高
第2次たいきょうスポーツ プラン成果目標の設定	2	第1次プランや市プランとの整合性を持たせ、事業の成果を総合的に評価できるよう新たに重点事業15事業、成果目標6指標を設定。	成果目標 ①生涯スポーツプログラム参加率 ②ユニバーサルスポーツ事業参加率 ③指導者登録者数 ④地域・学校・職場への派遣指導状況 ⑤校区体育協会事業実施率 ⑥スポーツクラブ・プログラム受講率		①2,057名 ②137名 ③137,143件 ④162名 ⑤49名 ⑥89件 ⑦167,690名	①1,719名 ②199名 ③153,377件 ④185名 ⑤23名 ⑥95件 ⑦169,782名	①2,223名 ②246名 ③189,533件 ④262名 ⑤44名 ⑥95件 ⑦150,539名	①596名 ②108名 ③156,769件 ④165名 ⑤25名 ⑥22件 ⑦101,118名	①1,822名 ②227名 ③188,849名 ④233名 ⑤43名 ⑥43件 ⑦128,454名	①75.8% (1,736名/2,290名) ②4% (1事業/48事業) ③17名 ④166件 ⑤73% (54団体/74団体) ⑥83.4% (4,326名/5,187名)	①75.7% (1,673名/2,211名) ②14.8% (2事業/14事業) ③21名 ④201件 ⑤76% (56団体/74団体) ⑥76.3% (4,021名/5,269名)	①82% (1,100名/1,340名) ②11.1% (3事業/27事業) ③25名 ④190件 ⑤77% (57団体/74団体) ⑥83% (4,350名/5,210名)	①84% (1,120名/1,340名) ②14.3% (4事業/28事業) ③30名 ④195件 ⑤78% (58団体/74団体) ⑥84% (4,400名/5,220名)	①85% (1,150名/1,350名) ②16.7% (5事業/30事業) ③35名 ④200件 ⑤80% (59団体/74団体) ⑥85% (4,450名/5,230名)	目標の見直し	高
スポーツクラブ受講料の 値上げ	3	R6年度より総合型スポーツクラブ受講料の値上げ（スポーツクラブ富山、水橋身体スポーツクラブを除く）	総合型スポーツクラブ事業収益	千円	28,997	40,912	36,700	24,924	33,679	38,596	41,870	53,914	54,453	54,998	55,548	中
スポーツ指導員派遣指導 収入	4	多くの市民が身近な施設や学校などで気軽にプログラムが体験できるよう派遣件数の増加を図る	派遣指導収入	千円	417	382	345	676	880	1,182	1,278	1,291	1,304	1,317	1,330	高
施設使用料の増	5	稼働率の低い時間帯に自主事業の開催や、供用時間外の対応により利用者数の増加を図り、施設使用料収入の増加を図る（総合体育館、身障者体育センターを除く）	施設使用料収入	千円	44,391	48,132	44,492	33,802	39,268	40,848	40,963	41,847	42,731	43,615	44,500	中

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	株式会社富山市民プラザ	団体代表者	京田 憲明
所在地	大手町6番14（富山市民プラザ敷地内）	市団体所管課	企画調整課
設立年月日	昭和62年7月	市出資割合	53%
事業の概要	①富山市民プラザの指定管理（ホール、マルチスタジオ、AVスタジオ、ギャラリー以外は直営）、まちなか賑わい広場「グランドプラザ」の指定管理 ②コミュニティバス「まいどはや」の運行、総曲輪西広場「ウエストプラザ」、グランドパーキングの運営、総曲輪ファッションビルの運営等		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	14 人
（内、市職員）※特別職含む	2 人
（内、富山市OB）	5 人
常勤役員の年間平均給与額	2,448 千円
常勤役員の平均年齢	66 歳

職員総数	51 人
（内、正規職員数）	15 人
（内、臨時・嘱託職員数）	36 人
（内、市派遣職員数）	0 人
職員総人件費	207,681 千円
（内、正規職員の年間総人件費）	106,475 千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	101,206 千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0 千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	33,893 千円
職員人件費に対する富山市の負担率	16%
正規職員の平均人件費	7,098 千円
非正規職員の平均人件費	2,811 千円
市派遣職員の平均人件費	- 千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	39 歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	6,582,071	6,484,538	6,400,569	6,297,122	6,310,619	6,073,215	6,041,289 千円
負債の部合計	2,510,151	2,385,180	2,268,794	2,142,647	2,122,089	1,854,429	1,760,744 千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0 千円
資本の部合計	4,071,920	4,099,358	4,131,775	4,154,475	4,188,530	4,218,786	4,280,545 千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	929,189	930,551	1,150,653	1,048,339	1,136,578	1,152,837	1,175,842 千円
経常費用	906,282	884,918	1,118,063	1,007,158	1,044,602	1,102,752	1,089,086 千円
収支差額	22,907	45,633	32,590	41,181	91,976	50,085	86,756 千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	49,262	53,922	51,629	54,483 千円
市支出 補助金	100,431	108,768	99,912	102,341 千円
借上料	604,316	616,585	618,141	620,560 千円
市収入 使用料	20,224	12,213	15,206	620,560 千円
収支差額	-733,785	-767,062	-754,476	-156,824 千円
貸付金残高	0	0	0	0 千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	754,009,722	780,183,408	780,285,544	780,285,544	780,285,544	-26,275,822
2. 市の使用料分	20,224,450	17,672,000	18,256,788	21,576,204	24,895,620	4,671,170
3. 団体経常利益の推移	22,907,143	32,330,000	35,397,000	32,767,000	16,257,000	-6,650,143
合計	710,878,129	730,181,408	726,631,756	725,942,340	739,132,924	-28,254,795

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
家賃収入	455,466,780	467,900,000	471,128,000	471,128,000	471,128,000
共益費収入	141,129,880	142,700,000	143,238,000	143,238,000	143,238,000
駐車場料金収入	255,966,503	215,900,000	216,110,000	210,470,000	205,000,000
管理受託料収入	40,159,441	62,300,000	63,021,000	63,281,000	63,521,000
事業収入	0	172,200,000	233,780,000	251,470,000	271,430,000
雑収入	24,248,520	2,400,000	1,380,000	1,380,000	1,380,000
営業収益	916,971,124	1,063,400,000	1,128,657,000	1,140,967,000	1,155,697,000
人件費	109,688,583	257,100,000	290,130,000	281,470,000	286,100,000
一般管理費	335,504,120	484,700,000	527,690,000	540,610,000	550,500,000
租税公課	90,008,927	78,800,000	77,200,000	77,140,000	77,090,000
減価償却費	274,921,944	274,200,000	268,670,000	279,410,000	296,180,000
イベント費	96,157,864	46,200,000	32,000,000	32,000,000	32,000,000
営業費用	906,281,438	1,141,000,000	1,195,690,000	1,210,630,000	1,241,870,000
営業利益	10,689,686	-77,600,000	-67,033,000	-69,663,000	-86,173,000
営業外収益	12,218,057	109,930,000	102,430,000	102,430,000	102,430,000
営業外費用	600	0	0	0	0
経常利益	22,907,143	32,330,000	35,397,000	32,767,000	16,257,000
特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	13,730,141	2,200,000	3,600,000	4,500,000	3,970,000
税引前当期利益	9,177,002	30,130,000	31,797,000	28,267,000	12,287,000
法人税等関連費用	4,111,819	10,700,000	12,200,000	10,900,000	4,800,000
当期利益	5,065,183	19,430,000	19,597,000	17,367,000	7,487,000

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
情報発信媒体の見直し	1	テレビインフォマーシャルを削減し、SNS等の活用を図る	広告宣伝費	円	2,339万円	2,348万円	1,559万円	1,114万円	1,583万円	1,545万円	499万円	427万円	472万円	508万円	532万円	中
<本社事業部> イベント経費の削減	2	コンサートイベントの廃止、定例イベントの隔年開催等	イベント事業費	円	9,616万円	8,995万円	6,646万円	1,379万円	1,792万円	2,471万円	1,827万円	3,500万円	3,200万円	3,200万円	3,200万円	中
<本社事業部> 電気料金の削減	3	館内照明器具のLED化により省エネ、電気料金の節減を図る	水道光熱費	円	2,456万円	2,534万円	2,296万円	1,702万円	1,874万円	2,737万円	2,532万円	2,760万円	2,550万円	2,550万円	2,550万円	低
<本社事業部> 市民プラザホールの稼働率・収入アップ	4	マルチスタジオ・AVスタジオの料金見直しにより、稼働率と収入アップを図る アンサンブルホール稼働率 マルチスタジオ稼働率 AVスタジオ稼働率 ギャラリー稼働率	稼働率	%	2,022万円	1,920万円	1,877万円	626万円	1,221円	1,520万円	1,634万円	1,660万円	1,820万円	2,150万円	2,480万円	中
<本社事業部> f i l 事業による賃貸収入	5	空き物件をリノベーションした学生シェアハウスにおいて、家賃・共益費収入を得る	家賃収入 共益費収入 入居者数 (定員・32名)	円 人	—	—	—	—	—	30万円	1,360万円	2,300万円	2,060万円	2,060万円	2,060万円	高
<駐車場事業部> 定期駐車台数枠を増やし 収入増加	6	定期駐車台数枠を増やし増収を図る	駐車場収入／ 定期券収入 駐車利用台数 定期駐車台数	円 台 台	1,343万円 739,655台 69台	1,629万円 722,941台 95台	1,768万円 695,521台 132台	2,420万円 641,309台 157台	2,997万円 712,597台 276台	3,401万円 708,238台 309台	3,462万円 684,802台 266台	3,400万円 616,000台 260台	3,400万円 616,000台 260台	3,400万円 616,000台 260台	3,400万円 616,000台 260台	高
<駐車場事業部> 電気料金の削減	7	場内照明器具のLED化により省エネ、電気料金削減を図る	水道光熱費	円	1,003万円	823万円	782万円	672万円	751万円	904万円	941万円	980万円	1,090万円	1,090万円	1,090万円	低
<まちづくり事業部> 地場産物ネットワーク事業の自社収益の拡大	8	自社仕入れの拡大、手数料率の改定による自社収益の増収を図る	事業収入	円	3,605万円	3,584万円	3,932万円	4,860万円	7,797万円	8,945万円	9,618万円	9,700万円	10,700万円	11,200万円	11,700万円	高
	9	購買点数及び客単価の増加により自社収益の増収を図る	客単価 購入点数	円 点	—	—	—	—	—	—	—	1,120円 4.4点	1,170円 4.7点	1,230円 4.9点	1,290円 5.2点	高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
<まちづくり事業部> 各事業・社内のコスト削減	10	各事業の経費を見直し、新年度の予算策定に反映させる。また、社内の事務用品等消耗品についても、最小限に留めるよう見直し職員の意識改善も図る	消耗品費 事務用品費	円	929万円	1,295万円	443万円	588万円	441万円	460万円	486万円	480万円	509万円	509万円	509万円	低
<まちづくり事業部> 各事業・社内のコスト削減	11	各事業の経費を見直し、新年度の予算策定に反映させる。また、社内の水光熱費についても、最小限に留めるよう見直し職員の意識改善も図る	水道光熱費	円	1,160万円	1,181万円	1,045万円	1,052万円	1,155万円	1,445万円	1,476万円	1,530万円	1,530万円	1,530万円	1,530万円	低
<まちづくり事業部> まいどはやバスの乗車料金収入アップ	12	コミュニティバスの赤字幅を縮小するため、運行ルートの見直し及び、料金改定(100円⇒200円)を行い収入アップを図る	事業収入	円	—	2,016万円	2,036万円	1,307万円	1,394万円	1,508万円	1,637万円	1,570万円	1,690万円	1,800万円	1,900万円	中
		西ルート(旧中央ルート)乗車数	西ルート乗車数	人	75,894人	81,966人	83,245人	54,570人	48,219人	51,305人	55,528人	53,300人	57,000人	60,700人	63,700人	
		東ルート(旧清水町ルート)乗車数	東ルート乗車数	人	134,900人	133,711人	131,792人	83,158人	53,193人	57,332人	61,743人	59,200人	63,000人	67,000人	70,000人	
		合計乗車数	合計乗車数	人	210,794人	215,677人	215,037人	137,728人	101,412人	108,637人	117,271人	112,500人	120,000人	127,700人	133,700人	
<まちづくり事業部> ほとり座の入場数・売上アップ	13	令和6年9月より自主運営となる「ほとり座」について、各事業と連携し、映画館及びライブホールの集客と収入のアップを図る	事業収入	円	—	—	—	—	—	—	—	3,800万円	4,100万円	4,900万円	5,900万円	中
		入場者数(映画館)	入場者数(映画館)	人												
		入場者数(ライブホール)	入場者数(ライブホール)	人								24,000人	28,000人	30,000人	24,000人	
<本社事業部> 視察及び旅行業(まち歩き)での売上アップ	14	旅行業の開業に伴い「観光まちづくり」の一環としてまち歩きツアーなどの企画運営を通して、新たな事業での収入アップを図る	事業収入	円	—	—	—	—	—	52万円	131万円	144万円	240万円	360万円	480万円	高
<本社事業部> テナント区画の売上アップ	15	テナント区画の空きを減らすことで、収入の確保に努める	家賃収入 共益費収入	円	—	—	—	—	—	—	—	4,590万円	4,650万円	4,650万円	4,650万円	中
		入居区画 (全17区画)	区画	区画								16区画	17区画	17区画	17区画	

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	社会福祉法人富山市社会福祉事業団	団体代表者	西田 政司
所在地	蜷川15番地（障害者福祉プラザ敷地内）	市団体所管課	福祉政策課
設立年月日	平成5年3月	市出資割合	100%
事業の概要	富山市の福祉施設の利用者が自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。 【管理施設：児童養護施設、養護老人ホーム、障害者福祉センター・身体障害者デイサービスセンター、児童館、老人福祉施設】		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	8人
（内、市職員）※特別職含む	3人
（内、富山市OB）	2人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	167人
（内、正規職員数）	23人
（内、臨時・嘱託職員数）	124人
（内、市派遣職員数）	20人
職員総人件費	481,117千円
（内、正規職員の年間総人件費）	164,779千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	265,957千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	50,381千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	481,055千円
職員人件費に対する富山市の負担率	100%
正規職員の平均人件費	7,164千円
非正規職員の平均人件費	2,144千円
市派遣職員の平均人件費	2,519千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	44歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	298,922	371,110	402,530	459,236	291,907	355,514	420,477千円
負債の部合計	239,788	265,788	240,039	482,507	248,468	276,638	285,889千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	59,134	105,322	162,491	-23,271	43,439	78,876	134,588千円
債務超過の有無	無	無	無	有	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	781,317	796,573	798,363	722,797	801,571	815,248	813,662千円
経常費用	742,581	750,386	741,193	908,559	734,731	778,492	752,479千円
収支差額	38,736	46,187	57,170	-185,762	66,840	36,756	61,183千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	192,329	190,970	173,557	186,989千円
市支出補助金	245,116	240,036	249,442	243,068千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入使用料	14,027	6,571	8,026	7,327千円
収支差額	-423,418	-424,435	-414,973	-422,730千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	437,445,782	486,427,000	486,531,000	500,403,000	515,610,000	-78,164,218
2. 市の使用料分	14,027,274	6,750,300	6,750,300	6,750,300	6,750,300	-7,276,974
3. 団体経常利益の推移	38,736,495	-624,300	22,978,000	13,559,000	13,556,000	-25,180,495
合計	384,682,013	480,301,000	456,802,700	480,093,700	495,303,700	-110,621,687

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
老人福祉事業収益	289,147,162	285,803,000	288,201,000	296,846,000	305,753,000
児童福祉事業収益	304,567,301	365,899,000	379,568,000	390,955,000	402,683,000
障害福祉サービス等事業収益	142,406,509	173,746,000	169,377,000	173,346,000	177,435,000
公益事業収益	43,917,252	50,230,000	49,942,000	51,441,000	52,983,000
経常経費寄附金収益	0	20,000	20,000	20,000	20,000
その他の収益	844,800	20,000	20,000	20,000	20,000
サービス活動収益計	780,883,024	875,718,000	887,128,000	912,628,000	938,894,000
人件費	459,554,537	556,954,300	553,386,000	578,977,000	594,503,000
事業費	164,560,856	195,816,000	194,409,000	200,455,000	208,577,000
事務費	117,527,197	112,607,000	116,315,000	119,597,000	122,218,000
その他の費用	828,000	40,000	40,000	40,000	40,000
サービス活動費用計	742,470,590	865,417,300	864,150,000	899,069,000	925,338,000
サービス活動外収益計	434,061	0	0	0	0
サービス活動外費用計	110,000	10,925,000	0	0	0
当期経常増減額	38,736,495	-624,300	22,978,000	13,559,000	13,556,000
特別収益計	0	0	0	0	0
特別費用計	0	0	0	0	0
特別増減差額	0	0	0	0	0
当期活動増減差額	38,736,495	-624,300	22,978,000	13,559,000	13,556,000
純資産・正味財産	59,133,832	134,587,278	157,565,278	171,124,278	184,680,278

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
【児童厚生施設】 ・ 休館日の設定	1	休館日については、中央児童館とほぼ同等の内容に改める。(市内全児童館の運営形態の均衡を図る)	人件費：非常勤職員 給与	円	児童館は平成21年度から通年開館(12/29~1/3を除く)としているため、職員の休日はローテーションにより割り振られる。週末(土、日)の勤務や平日は午後6時までの勤務になることから、ここ近年は特に児童厚生員の新たな確保に苦慮している。そのため、現に勤務している児童厚生員の勤務ローテーションの間隔が短くなったり、年休や夏季休暇が取得しづらいなど、現場の負担が大きくなっている。							定期休館日を設けるには、条例改正等が必要になることから、まずは、児童館条例第5条による臨時の休館日を設け、利用状況等を勘案しながら、運営形態の統一について、市側と協議する。				中
【老人福祉施設】 ・ 休館日の設定	2	週1日の休館日を設定し、非常勤臨時職員の賃金など運営コストの低減に努める。	人件費：非常勤職員 給与	円	老人福祉施設は平成24年度から通年開館(12/29~1/3を除く)としているが、特に月曜日は入浴サービスの提供を行わないことから入館者数が他の日に比べ大きく減少している。しかしながら、職員配置や開館に伴う水道光熱費等の運営経費は入浴サービスを提供している日とほぼ同じであり、コストパフォーマンスが悪い。							定期休館日を設けるには、条例改正等が必要になることから、まずは、児童館条例第5条による臨時の休館日を月曜日を中心に設け、利用状況等を勘案しながら、市側と協議する。 (費用削減の見込) 非常勤職員賃金 ▲2,000千円/年(5館合計)				中
【愛育園】 ・ 変形労働時間制の導入	3	愛育園職員の夜勤について、現在は『超過勤務』扱いで2割5分の割増給与を支給しているが、1か月単位の変形労働時間制を導入することにより、週平均40時間内勤務の扱いとして、割増賃金の支給をやめ、人件費負担を軽減する。	人件費：職員手当等	円	愛育園職員は日勤、運番、夜勤の交代制勤務であり、平均すると週40時間内の勤務となるよう勤務ローテーションを作成し、運用しているが、労働基準法で定められているところの『変形労働時間制』を就業規則に規定していないことから、夜勤については、正規の勤務時間であるにもかかわらず、8時間を超えた時点で「超過勤務」とみなされ、2割5分の割増給与を支給している。							愛育園職員の勤務時間に変形労働時間制を導入し、本来生じない「正規の勤務時間に対する割増給与」の支給を改め、職員人件費の適正化を目指す。 (費用削減の見込) プロパー・嘱託職員超勤手当 ▲9,600千円/年				高

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	社会福祉法人富山市社会福祉協議会	団体代表者	高城 繁
所在地	今泉83-1（本所）	市団体所管課	福祉政策課
設立年月日	平成17年4月	市出資割合	60%
事業の概要	富山市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。主に地域の高齢者や障害者に対する各種支援事業を行う。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	13人
（内、市職員）※特別職含む	0人
（内、富山市OB）	2人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	85人
（内、正規職員数）	34人
（内、臨時・嘱託職員数）	51人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	359,674千円
（内、正規職員の年間総人件費）	237,634千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	122,040千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	331,756千円
職員人件費に対する富山市の負担率	92%
正規職員の平均人件費	6,989千円
非正規職員の平均人件費	2,393千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	48歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	1,235,909	1,254,808	1,238,284	1,246,920	1,245,087	1,204,175	1,291,786千円
負債の部合計	454,270	449,469	451,546	475,327	477,865	446,982	435,750千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	781,639	805,339	786,738	771,593	767,222	757,193	856,036千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	598,659	581,709	573,185	550,772	565,550	544,777	565,621千円
経常費用	596,956	578,231	588,713	554,279	557,032	537,701	548,863千円
収支差額	1,703	3,478	-15,528	-3,507	8,518	7,076	16,758千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	130,284	91,800	103,642	109,620千円
市支出補助金	318,261	326,981	302,144	302,904千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-448,545	-418,781	-405,786	-412,524千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	448,545,458	435,300,688	426,066,900	400,348,900	390,862,900	57,682,558
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	1,703,000	-7,060,000	4,343,000	-11,275,000	-13,551,000	-15,254,000
合計	446,842,458	442,360,688	421,723,900	411,623,900	404,413,900	42,428,558

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
会費収益	13,024	13,360	13,404	13,448	13,492
寄附金収益	9,254	9,800	9,800	9,800	9,800
経常経費補助金収益	291,111	310,778	305,315	291,620	286,264
受託金収益	106,260	120,321	120,321	120,321	120,321
負担金収益	1,476	2,940	2,940	2,940	2,940
事業収益	166,901	144,640	140,869	128,846	124,716
(その他の収益)	6,910	10,617	21,976	6,314	3,994
サービス活動収益計	588,027	601,839	592,649	566,975	557,533
人件費	427,579	425,735	416,501	390,783	381,297
事業費	68,801	68,848	68,848	68,848	68,848
事務費	46,909	67,553	67,553	67,553	67,553
その他	53,667	61,370	61,370	61,370	61,370
サービス活動費用計	596,956	623,506	614,272	588,554	579,068
サービス活動外収益計	10,632	14,607	25,966	10,304	7,984
サービス活動外費用計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,704	-7,060	4,343	-11,275	-13,551
特別収益計	8,736	90,000	0	0	0
特別費用計	8,736	90,000	0	0	0
特別増減差額	0	0	0	0	0
当期活動増減差額	1,704	-7,060	4,343	-11,275	-13,551
純資産・正味財産	781,639	848,976	853,319	842,044	828,493

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
【認定調査業務】 [補助金]正規職員人件費の削減	1	正規職員定年退職後の継続雇用促進により、人件費を削減する。	人件費	千円	79,759	103,082	104,769	105,398	97,958	85,201	80,755	75,163	67,792	44,969	37,239	高
	人			12	15	15	15	14	12	11	10					
	千円			48,264	24,802	25,594	25,896	29,389	35,008	39,213	45,809	49,409	60,209	63,809	高	
[委託料]非正規職員人件費+事務費	2		人	10	5	5	5	6	8	10	11					
[補助金] + [委託料]	計	【認定調査業務】合計	人件費	千円	128,023	127,884	130,363	131,294	127,347	120,209	119,968	120,972	117,201	105,178	101,048	高
人				22	20	20	20	20	20	21	21					
【社協事業運営補助金】継続雇用の促進による人件費の削減	3	継続雇用促進により、市の運営費補助金（人件費分）を減額する。※定年退職者数：R7年度末3人、R8年度末1人、R9年度末0人退職	人件費	千円	177,491	166,571	171,638	183,176	171,089	162,046	163,216	169,220	163,757	150,062	144,706	高
【社協事業運営補助金】自主財源の確保 (会費納入率の向上)	4	自主財源を増やし、市運営費補助金（事務施設経費分）を削減する。会費(1世帯年100円)納入率を上げるため、市民広報やホームページ、地域に出向き会費の用途を示し、会費納入への理解を深める。納入率は、H29年度98.9% 毎年0.5%増額で100%を目標とする。	会費収益	千円 %	13,024	13,109	13,128	13,193	13,248	13,252	13,295	13,360	13,404	13,440	13,492	中
【社協事業運営補助金】自主財源の確保 (愛と誠銀行機能の強化)	5	寄付金額を増やし、市運営費補助金（事務施設経費分）を削減する。寄附の受付窓口である愛と誠銀行は、社協の本・支所、市役所福祉政策課、富山地域の地区センターに窓口を設置。実績のない地区への働きかけ、企業などへ愛と誠銀行の趣旨を説明し、募金箱の設置箇所(公共施設、企業)を増やし、寄附金の増額を図る。	寄付金収益	千円	9,254	16,962	7,390	9,120	7,227	9,382	18,241	9,800	9,800	9,800	9,800	中
【大沢野高齢者いきがい工房運営業務委託】諸謝金の削減	6	11教室のうち、木工教室では基礎2コース、応用2コースの計4コース開催予定としているが、基礎1コース、応用1コースの計2コースに縮小し削減を図る。()は木工のみ	事業費 (諸謝金)	千円	2,274	2,274	2,240	1,684	1,800	1,744	1,784	2,200	1,784	1,784	1,784	中
					(600)	(600)	(600)	(640)	(400)	(384)	(400)	(400)	(400)	(400)	(400)	

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題					目標数値				重要度 (高・中・低)		
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度	R9年度
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)		(計画)	(計画)
【婦中社会福祉センター運営 事業補助金】 入館者の増員	7	<p>入館者の増員を図り、入館料の増額に繋げる。</p> <p>慣例の婦中地域の老人クラブ・社会福祉団体等を通じた宣伝に加え、婦中以外の地域から利用者呼び込むために広報とやま「社協からのお知らせ」で市内全域に案内する。例：粟湯の日の開催など、集客イベントは今後考案します。</p> <p>また、バスで送迎して団体利用を促進する点についても婦中地域限定では利用頻度が極めて低いため婦中地域外へ送迎対象範囲を徐々に広げていく。集客イベントと同様に広報とやま「社協からのお知らせ」で団体利用を案内する。例：婦中町の隣接地区から始め神通川以西へ拡大するなど。</p> <p>地元在住者から、現在の名称では利用概要を連想できず、婦中支所と間違えて連絡されることも散見されることから、ホームページを含めて判りやすい俗称の必要性を感じます。その他、あらゆる機会を捉えてセンター利用を宣伝する。</p>	事業収入	人 千円	18,971人	18,129人	19,090人	10,591人	13,456人	16,316人	20,045人	22,940人	22,940人	22,940人	22,940人	中
受益者負担の在り方を検討	8	資料代等、その他必要経費を受益者負担してもらう方策を検討する。	事業収入		各種講座や研修会の開催、機材の貸出など自主事業で実施している各種住民サービスはほとんどが無料で実施している。						いきがい講座などは継続して参加費を取る					低

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	一般財団法人富山市ガラス工芸センター	団体代表者	西田 政司
所在地	古沢152番（富山ガラス工房敷地内）	市団体所管課	企画調整課
設立年月日	平成6年3月	市出資割合	76%
事業の概要	①富山ガラス工房の管理運営 ②富山のガラス工芸品の紹介等を広く行い、富山市の地場産業の振興に寄与することを目的として、高度なガラス工芸の技能を有する人材の育成やガラス工芸品の開発・研究及び制作等の事業		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	11 人
（内、市職員）※特別職含む	3 人
（内、富山市OB）	1 人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	35 人
（内、正規職員数）	3 人
（内、臨時・嘱託職員数）	28 人
（内、市派遣職員数）	1 人
職員総人件費	110,799 千円
（内、正規職員の年間総人件費）	24,201 千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	83,610 千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	2,988 千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	80,637 千円
職員人件費に対する富山市の負担率	73%
正規職員の平均人件費	8,067 千円
非正規職員の平均人件費	2,986 千円
市派遣職員の平均人件費	2,988 千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	- 歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	174,262	184,613	190,581	202,365	206,700	231,497	248,801 千円
負債の部合計	51,527	49,420	46,880	49,531	44,400	54,926	60,532 千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0 千円
資本の部合計	122,735	135,193	143,701	152,834	162,300	176,571	188,269 千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	297,858	330,693	299,726	312,003	275,784	312,303	309,449 千円
経常費用	290,025	318,227	291,217	302,870	266,319	298,031	297,751 千円
収支差額	7,833	12,466	8,509	9,133	9,465	14,272	11,698 千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	68,262	67,122	79,304	70,716 千円
市支出 補助金	75,603	76,765	88,808	80,923 千円
借上料	0	0	0	0 千円
市収入 使用料	18,263	17,888	18,666	18,550 千円
収支差額	-125,602	-125,999	-149,446	-133,089 千円
貸付金残高	0	0	0	0 千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	143,865,646	163,861,000	163,849,000	163,849,000	163,849,000	-19,983,354
2. 市の使用料分	18,262,660	21,517,000	21,517,000	21,517,000	21,517,000	3,254,340
3. 団体経常利益の推移	7,833,825	0	1,270,000	5,270,000	7,770,000	-63,825
合計	117,769,161	142,344,000	141,062,000	137,062,000	134,562,000	-16,792,839

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用収入	15,540	17,000	17,000	17,000	17,000
受託収入	68,262,047	80,921,000	85,000,000	85,000,000	85,000,000
補助金収入	92,978,554	98,764,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
事業収入	118,218,517	113,500,000	116,000,000	118,500,000	121,000,000
雑収入	18,383,782	24,018,000	24,018,000	24,018,000	24,018,000
経常収益計	297,858,440	317,220,000	325,035,000	327,535,000	330,035,000
管理費	20,597,901	21,688,000	21,688,000	21,688,000	21,688,000
事業費	269,426,714	295,532,000	302,077,000	300,577,000	300,577,000
経常費用計	290,024,615	317,220,000	323,765,000	322,265,000	322,265,000
当期経常増減額	7,833,825	0	1,270,000	5,270,000	7,770,000
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	7,907	0	0	0	0
当期経常外増減額	-7,907	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,825,918	0	1,270,000	5,270,000	7,770,000
純資産・正味財産	122,735,078	163,511,184	164,781,184	170,051,184	177,821,184

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)	
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)		
富山市からの委託事業の経費削減	1	富山のガラスコラボレーション事業 従来行ってきた様々な素材やテーマとのコラボレーションは継続し、富山ガラスの産業化推進や全国へのPRをより効率的に実施する方法を検討し、経費削減に努める。	委託事業	円	1,599,353	1,596,943	1,043,000	1,600,000	0	0	0	0	0	0	0	0	中
富山市からの委託・補助事業の経費削減	2	ガラス文化の市民への普及 町内会などの地域諸団体、学校が団体で制作体験を行うための無料送迎バスを2台（大型、中型）運行し、利用者の利便性を高める。	事業収入 (体験収入)	人	2,833	2,651	2,527	2,319	2,224	2,812	2,862	2,900	3,000	3,100	3,200	中	
富山市からの委託・補助事業の経費削減	3	まちなかミニ工房事業 事業終了による委託料減（人件費補助金は他の政策事業へ移行）	委託事業	円	2,947,256	2,844,656	459,258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中
富山市からの補助事業の削減	4	アートマネジメント推進事業 補助団体の体制強化を促し補助金の削減を行う。	補助事業	円	3,031,962	3,950,432	3,998,267	350,660	350,000	400,000	30,000	512,000	500,000	500,000	500,000	中	
コスト削減（印刷製本費）	5	WEB、SNS等の活用を推進し、各種印刷物パンフ等削減を目指す。	印刷製本費	円	3,518,867	1,913,135	1,755,588	2,722,104	1,456,684	1,568,020	2,832,180	3,668,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	中	
ショップの売上の向上	6	販売促進・ブランド化推進等による売上向上 富山ガラスの産業化に向けた様々な取組の成果を見込む。	事業収入 (売上収入)	円	86,733,497	99,182,783	69,482,437	90,598,848	63,919,627	74,333,190	85,307,982	80,000,000	82,000,000	84,000,000	86,000,000	高	
体験者数	7	ガラス文化の市民への普及 市と連携しながら、様々な制作体験を企画し、市民、館顧客に関心を持っていただき、実際に体験してもらう。	事業収入 (体験収入)	人	13,084	12,198	11,988	9,398	11,063	13,617	12,499	13,500	14,000	14,500	15,000	高	

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	公益財団法人富山市民文化事業団	団体代表者	庵 栄伸
所在地	牛島町9番28	市団体所管課	文化国際課
設立年月日	昭和57年6月	市出資割合	61%
事業の概要	①広く文化の普及振興を図ることを目的として実施する様々なイベント等の開催 ②富山市芸術文化ホール（オーバードホール）の管理運営 ③富山市民芸術創造センターの管理運営		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	12人
（内、市職員）※特別職含む	2人
（内、富山市OB）	1人
常勤役員の年間平均給与額	常勤役員が1名なので非公開 千円
常勤役員の平均年齢	常勤役員が1名なので非公開 歳

職員総数	48人
（内、正規職員数）	21人
（内、臨時・嘱託職員数）	25人
（内、市派遣職員数）	1人
職員総人件費	223,500千円
（内、正規職員の年間総人件費）	152,386千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	68,311千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	2,803千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	223,500千円
職員人件費に対する富山市の負担率	100%
正規職員の平均人件費	6,260千円
非正規職員の平均人件費	1,700千円
市派遣職員の平均人件費	2,803千円
給与規定	富山市の給与規定に準拠
正規職員の平均年齢	44歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	317,192	336,980	381,724	362,748	389,475	381,024	428,594千円
負債の部合計	206,499	228,888	274,680	256,929	284,311	275,466	323,691千円
（内、借入金）	0	0	0	0	0	0	0千円
資本の部合計	110,693	108,092	107,044	105,819	105,164	105,558	104,903千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	811,128	863,259	822,418	732,104	792,266	881,463	1,082,681千円
経常費用	812,131	865,835	823,442	733,304	793,033	881,040	1,083,309千円
収支差額	-1,003	-2,576	-1,024	-1,200	-767	423	-628千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	577,349	491,582	564,080	812,951千円
市支出 補助金	42,881	38,657	36,354	53,907千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入 使用料	97,432	62,341	86,382	96,482千円
収支差額	-522,798	-467,898	-514,052	-770,376千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	620,229,232	884,250,000	864,194,193	843,310,193	855,185,193	-234,955,961
2. 市の使用料分	97,432,340	111,918,000	95,059,000	60,316,000	87,950,000	-9,482,340
3. 団体経常利益の推移	-1,003,012	-452,143	0	0	0	1,003,012
合計	523,799,904	772,784,143	769,135,193	782,994,193	767,235,193	-243,435,289

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用益	530,000	156,000	156,000	156,000	156,000
事業収益	51,408,846	67,587,000	55,182,000	42,202,000	55,207,000
受取補助金等	183,246,595	242,046,000	238,677,000	237,813,000	232,553,000
受託料収入	574,140,928	822,584,000	804,328,193	784,308,193	801,443,193
受取負担金収入	0	0	0	0	0
雑収入	1,801,876	2,069,000	2,069,000	2,069,000	2,069,000
経常収益計	811,128,245	1,134,442,000	1,100,412,193	1,066,548,193	1,091,428,193
事業費	777,985,271	1,098,188,943	1,062,559,363	1,028,663,243	1,053,989,203
管理費	34,145,986	36,705,250	37,852,830	37,884,950	37,438,990
経常費用計	812,131,257	1,134,894,193	1,100,412,193	1,066,548,193	1,091,428,193
当期経常増減額	-1,003,012	-452,193	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,003,012	-452,193	0	0	0
純資産・正味財産	110,692,596	104,395,252	104,395,252	104,395,252	104,395,252

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
(市民文化振興事業委託) 入場料収入の確保	1	R7～9に大ホールが休館となる中、入場料収入の減少は避けられないが、中ホールを中心とした市民ニーズを的確に把握した事業展開や、販売拡大・適正な価格設定によって、入場料収入を可能な範囲で確保する。	事業収益・入場料収入	千円	40,509	49,124	39,538	5,234	27,260	49,343	59,977	58,722	46,017	34,537	47,242	高
	2	入場者数の確保。	事業収益・入場料収入	人	20,613	31,015	27,128	7,344	20,004	36,404	42,895	24,000	29,188	10,446	20,303	高
(市民文化振興事業委託) 手数料収入の増加	3	①アスネット会員割引の廃止（大ホールの改修が終わるR9年度実施） ※アスネット会員＝年間費1,800円の有料会員。会員は入場料が割引される。 ②取扱公演の拡大によるプレイガイド手数料収入の増加 ※プレイガイド手数料＝他の事業者が発行するチケットを文化事業団が代理販売することで得られる手数料。	事業収益・手数料収入	千円	1,916	2,713	2,374	3,512	1,808	3,816	3,575	3,316	3,316	3,316	5,000	高
	4	メール会員（無料会員）の増加。	事業収益・手数料収入	人	1,999	3,805	5,668	6,406	8,603	11,712	15,025	12,500	16,000	17,000	18,000	高
(市民文化振興事業委託) 協賛金収入の増加	5	協賛企業の新規開拓による収入の増加。	事業収益・協賛金収入	千円	400	400	1,208	0	600	600	930	600	900	1,200	1,500	中
(市民文化振興事業委託) 補助金の増加	6	国・芸術文化団体等の補助金制度を積極的に活用することによる収入の増加。	受取補助金等・富山市以外からの補助金	千円	200	4,695	1,618	3,427	22,759	37,510	5,863	300	4,000	4,000	4,000	高
(市民文化振興事業委託) 総合PR事業の見直し	7	PRの方法を紙媒体から電子媒体に移行することによるコストの削減。（事業団情報誌「mite mite」の規模を廃止。それに伴いHP等の充実を図る。）	事業費・委託料	千円	19,788	20,264	22,272	21,659	21,737	22,850	27,071	22,590	22,590	22,590	19,500	高
(市民文化振興事業委託) 事業費（報償費）の削減	8	事業内容精査によるコストの削減。	事業費・報償費	千円	92,085	90,518	82,818	38,992	56,485	97,013	141,152	109,956	104,500	91,500	104,500	高
(市民文化振興事業委託) 事業費（印刷製本費・広告料）の削減	9	事業内容精査によるコストの削減。	事業費・印刷製本費・広告料	千円	28,866	30,189	19,469	10,861	27,782	29,633	26,731	31,733	30,000	30,000	30,000	高

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
(市民文化振興事業委託) 事業費(消耗品費・食糧費・通信運搬費・委託料)の削減	10	事業内容精査によるコストの削減。	事業費・消耗品費・食糧費・通信運搬費・委託料	千円	44,790	69,482	45,340	29,290	34,149	50,685	74,867	70,787	67,500	67,500	67,500	高
(芸術文化ホール使用料収入) 使用料収入の増加	11	令和5年度の「中ホール」開館に伴い、本館は貸館事業を主とした運営へのシフトによる収入の増加。	使用料収入	千円	55,339	50,236	48,894	12,880	29,732	46,256	54,089	58,722	50,966	17,800	45,434	高
	12	改修後の大ホール入場者数の増加。	使用料収入	人	182,550	166,734	165,199	31,281	76,087	127,228	141,824	192,000	97,000	0	50,000	高
	13	中ホール(R5開館)入場者数の増加。	使用料収入	人							29,840	36,000	37,000	38,000	39,000	高
(市民芸術創造センター使用料収入) 使用料収入の増加	14	ネット予約の促進による利便性向上・電子決済の普及による収入の増加。	使用料収入	千円	42,093	42,404	42,567	17,411	32,604	40,315	42,576	40,365	44,093	42,516	42,516	高
	15	延べ利用者数の増加。	使用料収入	人	227,250	230,268	225,117	97,927	126,728	164,340	179,922	237,000	237,000	212,000	212,000	高
芸術文化ホール使用料、市民芸術創造センター使用料の見直し	16	市が中長期的検討を行っている施設の使用料の見直し等について、指定管理者の立場から情報提供や具申を行う。	使用料収入		使用料の見直しに伴い、その周知方法や事務手続について、市とともに整理していく必要がある。特に、使用料や減免額の見直しの内容によっては、システム改修が必要となる場合があり、予算の確保や改修期間を見込む必要がある。											高

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	富山大手町コンベンション株式会社	団体代表者	藤井 裕久
所在地	大手町1番2（富山国際会議場敷地内）	市団体所管課	コンベンション・薬業物産課
設立年月日	平成8年2月	市出資割合	58%
事業の概要	①富山国際会議場の管理運営（指定管理） ②国際会議場と隣のANAクラウンプラザホテル併用の地下駐車場の管理運営		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度末時点）

役員総数	10 人
（内、市職員）※特別職含む	4 人
（内、富山市OB）	1 人
常勤役員の年間平均給与額	3,156 千円
常勤役員の平均年齢	65 歳

職員総数	2 人
（内、正規職員数）	0 人
（内、臨時・嘱託職員数）	2 人
（内、市派遣職員数）	0 人
職員総人件費	千円
（内、正規職員の年間総人件費）	0 千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	10,455 千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0 千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	7,566 千円
職員人件費に対する富山市の負担率	72%
正規職員の平均人件費	- 千円
非正規職員の平均人件費	5,228 千円
市派遣職員の平均人件費	- 千円
給与規定	団体独自の規定
正規職員の平均年齢	- 歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	1,634,166	1,540,211	3,174,352	2,799,584	2,665,431	2,537,805	2,382,786 千円
負債の部合計	133,302	85,455	1,808,496	1,487,907	1,362,759	1,251,485	1,132,110 千円
（内、借入金）	102,400	9,620	1,627,500	1,464,768	1,302,036	1,139,304	976,572 千円
資本の部合計	1,500,864	1,454,756	1,365,856	1,311,677	1,302,672	1,286,320	1,250,676 千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	311,214	312,447	286,395	236,322	322,325	360,373	337,462 千円
経常費用	366,271	357,482	397,693	287,959	329,737	338,494	335,585 千円
収支差額	-55,057	-45,035	-111,298	-51,637	-7,412	21,879	1,877 千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	42,081	130,834	126,781	15,261 千円
市支出 補助金	21,877	34,280	34,280	34,280 千円
借上料	25,947	43,710	43,392	43,392 千円
市収入 使用料	0	0	0	0 千円
収支差額	-89,905	-208,824	-204,453	-92,933 千円
貸付金残高	0	0	0	0 千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	89,905,135	178,384,000	158,669,600	142,898,080	132,413,250	-42,508,115
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	-55,058,000	-57,656,000	-49,983,000	-68,635,000	-77,340,000	-22,282,000
合計	144,963,135	236,040,000	208,652,600	211,533,080	209,753,250	-64,790,115

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
新賃貸料合計	74,319	42,058	42,058	42,058	42,058
物産売上	421	700	700	700	700
コンベンション等指導情報提供業務受託料(県)	4,630	4,545	4,545	4,545	4,545
富山国際会議場管理受託料	38,964	89,611	71,689	57,351	47,820
富山国際会議場管理受託料人件費補助	26,462	9,548	9,548	9,548	9,548
施設利用料	80,077	69,584	82,400	84,872	87,418
コンパクトデリトヤマ売上	18,768	0	0	0	0
駐車場収入	64,072	55,919	56,650	58,350	60,100
売上合計	307,713	271,965	267,590	257,424	252,189
売上原価	218	500	500	500	500
販売及び一般管理費	363,851	353,172	343,073	351,559	355,029
営業利益	-56,356	-81,707	-75,983	-94,636	-103,340
営業外収益	3,498	31,535	35,366	33,304	31,250
営業外費用	2,200	7,484	9,366	7,304	5,250
経常利益	-55,058	-57,656	-49,983	-68,636	-77,340
特別利益	0	658,241	0	0	0
特別損失	110	646,313	0	0	0
税引き前当期利益	-55,168	-45,728	-49,983	-68,636	-77,340
法人税等	1,072	1,072	1,072	1,072	1,072
当期純利益	-56,240	-46,800	-51,055	-69,708	-78,412

I 団体の概要

1. 団体の概要（令和7年3月時点）

団体名	一般財団法人富山市婦中公園緑地管理公社	団体代表者	牧 雅浩
所在地	婦中町羽根1000番1	市団体所管課	土木事務所管理課
設立年月日	平成6年3月	市出資割合	100%
事業の概要	富山市の設置する都市公園施設等の維持管理と運営業務を適切に行い、広く地域社会の人々が施設の有効利用を図られることを目的とする。		

2. 団体の役員・職員の状況（令和5年度）

役員総数	7人
（内、市職員）※特別職含む	7人
（内、富山市OB）	0人
常勤役員の年間平均給与額	-千円
常勤役員の平均年齢	-歳

職員総数	11人
（内、正規職員数）	0人
（内、臨時・嘱託職員数）	11人
（内、市派遣職員数）	0人
職員総人件費	21,871千円
（内、正規職員の年間総人件費）	0千円
（内、非正規職員の年間総人件費）	21,871千円
（内、市派遣職員の年間総人件費）	0千円
総人件費に対する富山市からの補助金・委託料	21,164千円
職員人件費に対する富山市の負担率	97%
正規職員の平均人件費	-千円
非正規職員の平均人件費	1,988千円
市派遣職員の平均人件費	-千円
給与規定	団体独自の規定
正規職員の平均年齢	-歳

3. 団体の財務状況

(1) 貸借対照	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産の部合計	69,480	68,352	67,476	66,991	64,328	63,576	45,044千円
負債の部合計	21,009	20,783	20,696	21,012	20,653	20,675	2,776千円
（内、借入金）	18,446	18,316	18,186	18,056	17,766	17,526	0千円
資本の部合計	48,471	47,569	46,780	45,979	43,675	42,901	42,268千円
債務超過の有無	無	無	無	無	無	無	無
(2) 損益計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	35,674	34,770	40,754	41,936	41,439	41,641	42,498千円
経常費用	36,537	35,613	41,803	42,656	43,662	42,335	43,051千円
収支差額	-863	-843	-1,049	-720	-2,223	-694	-553千円

4. 団体に対する富山市の関与

費目名	平成29年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	19,001	19,127	19,323	19,846千円
市支出補助金	13,364	13,856	14,841	14,903千円
借上料	0	0	0	0千円
市収入使用料	0	0	0	0千円
収支差額	-32,365	-32,983	-34,164	-34,749千円
貸付金残高	0	0	0	0千円

II 改善目標額

(単位：円)

個別目標	平成29年度 実績額	令和6年度 予算額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	改善額 (H29-R9比)
1. 市の財政支出分	32,364,170	36,929,000	37,155,000	37,389,000	37,389,000	-5,024,830
2. 市の使用料分	0	0	0	0	0	0
3. 団体経常利益の推移	-863,575	-2,417,000	-1,494,000	-877,000	-542,000	321,575
合計	33,227,745	39,346,000	38,649,000	38,266,000	37,931,000	-4,703,255

III 損益計画

(単位：円(税抜))

科目名	平成29年度 (実績)	令和6年度 (予算)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)
基本財産運用益	7,523	1,000	1,000	1,000	1,000
特定資産運用益	1,193	0	0	0	0
事業収益	19,000,570	21,016,000	21,832,000	22,566,000	23,066,000
補助金収益	16,517,000	23,158,000	23,158,000	23,158,000	23,158,000
雑収益	147,266	291,000	291,000	291,000	291,000
経常収益計	35,673,552	44,466,000	45,282,000	46,016,000	46,516,000
事業費	28,561,074	33,268,000	33,161,000	33,278,000	33,443,000
管理費	7,976,053	13,615,000	13,615,000	13,615,000	13,615,000
経常費用計	36,537,127	46,883,000	46,776,000	46,893,000	47,058,000
当期経常増減額	-863,575	-2,417,000	-1,494,000	-877,000	-542,000
経常外収益計	130,000	0	0	0	0
経常外費用計	130,001	0	0	0	0
当期経常外増減額	-1	0	0	0	0
法人税等	31,400	81,000	81,000	81,000	81,000
当期一般正味財産増減額	-894,976	-2,498,000	-1,575,000	-958,000	-623,000

IV アクションプラン

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)	
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)		
光熱水費の削減	1	水道料金を削減するため、水道水の使用実績が極めて少ない施設の給水を中止する。 R2年度より、電気料金及び電球の長寿命化による経費削減のため、電球のLED化を順次実施。 ※電気料金について、以下の理由からLED化による削減額は算出困難であるため、消費ワット数を記載。 ・1施設につきメーターは1箇所 ・メーター使用量は冷暖房機器を含めた数値	水道料金 (閉栓対象施設の基本料金)	千円	50 ※13施設	50 ※13施設	0 ※13施設を閉栓	3 ※内3施設を開栓	3	3	2 ※1施設を追加閉栓	2	2	2	2	低	
			電気料金 (LED化対象機器の消費ワット数)	kw	7,522	7,522	7,522	2,859	2,062	0	0	0	0	0	0		0
					—	—	—	—	—	(2,000) ※追加	166	0	0	0	0		0
		—	—	—	—	—	—	—	—	(4,000) ※追加	2,700	1,300	0	0			
受託収入のアップ	2	婦中地域以外からも公共施設管理業務を受託できるよう努める。	純利益	千円	0	0	421	599	330	450	213	100	460	760	1,060	中	
			売上高		0	0	993	1,100	957	954	1,069	1,069	1,659	2,159	2,659		
外部収入のアップ	3	自動販売機設置による新規収入の確保	雑収入	千円	0	0	72	73	73	73	104	110	110	110	110	低	
指定管理者業務における修繕費の取扱い	4	管理委託料に含まれる施設及び設備の部品交換や補修修繕にかかる費用について、抜本的修繕（遊具の撤去及び新設）や巨木の解体費用など、多額の費用を要する場合、所要額が確保されるよう協議を行う。	修繕費		—	—	—	—	—	—	—	協議実施			中		
適正な公園管理の検討	5	各地域で公園管理の方法（指定管理又は外部発注）が異なっていることから、市全体の公園管理について統一性を持った持続可能な管理方法について検討を行う。 その上で、管理方法に基づいた団体のあり方について検討する。	あり方検討		—	—	—	—	—	—	—	検討実施			高		

項目	No	目標に対する具体的なアクション (時期と定量的な目標を記載できる場合は記載)	勘定科目・項目	単 位	直近の実績数値 又は 現状認識している課題							目標数値				重要度 (高・中・低)
					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
					(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(計画)	(計画)	(計画)	
全体会議の実施	6	毎日朝礼を行い、その日の作業内容の確認及び注意事項の点検を行うとともに、全体会議を毎月実施して、今後の作業改善点等を、ただ聞いているだけでなく、自ら提案する体制とする。 少人数の組織ゆえ、構成員一人一人の意見が反映できることによる「やりがい感」を育成する。	人材育成		—	—	—	—	—	—	—	—	取組実施			低